

金沢工業高等専門学校

2016 KTC企業アンケート 報告書【抜粋】

2016.10.11

有限会社 アイ・ポイント

<1> 調査の目的と概略

■ 調査目的

- 本調査は金沢工業高等専門学校(以下、金沢高専またはKTC)を取り囲む関係者を対象として、金沢高専の更なる向上に有用な基礎情報を得るための調査の一環として、企業という立場から金沢高専を見た際の評価を把握することを主目的としている。
- 本調査は過去3年間に金沢工業大学の卒業生が入社した企業及び、過去5年間に金沢高専の卒業生が入社した企業を対象としている。なお、今回は官公庁、個人経営、パチンコ店等、また地震による被災エリア(熊本県、大分県)は省いて実施している。
- 今回は「新入社員や金沢高専卒業生に求める能力」「グローバル人材、イノベーション人材に関する考え方」といった人材に関する考えの他に、2018年4月からの「新金沢高専」に対する意見も聞いており、今後のカリキュラム開発などのための基礎情報とする予定である。
- 過去に金沢高専卒業生が入社した企業に対してアンケートを実施していたが、今回は内容的に重複する部分はあるものの、対象企業が大きく異なるため、以前との比較は行っていない。

■ 調査方法

調査時期	発送:2016年6月1日 締切:2016年6月25日										
対象企業	過去3年間に金沢工業大学卒業生が入社した企業及び、過去5年間に金沢高専卒業生が入社した企業。 ただし、今回は「官公庁」「個人経営」「パチンコ店」等、また「地震による被災エリア(熊本県、大分県)」は省いている。										
調査方法	郵送にて調査票を配布し、返信用封筒にて回収した。 発送は人事担当者宛で、無記名式(任意で社名のみ記名)とした。										
回収数	送付数:1,818 回収数:789(回収率43.4%) ※参考:過去の金沢高専企業向けアンケートの回収数(これまでは金沢工業大学卒業生が入社した企業には発送せず) <table border="1"><thead><tr><th>実施年</th><th>回収数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成15年度</td><td>65社</td></tr><tr><td>平成20年度</td><td>36社</td></tr><tr><td>平成23年度</td><td>71社</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>789社</td></tr></tbody></table>	実施年	回収数	平成15年度	65社	平成20年度	36社	平成23年度	71社	平成28年度	789社
実施年	回収数										
平成15年度	65社										
平成20年度	36社										
平成23年度	71社										
平成28年度	789社										
調査主体	学校法人 金沢工業大学										
集計分析	(有)アイ・ポイント										

■ 集計に関して

加重平均に関して	<ul style="list-style-type: none">・ 各調査項目を属性毎に比較するため、加重平均値を活用している。・ 今回の調査では、選択肢を「満たしている～少し満たしている～あまり満たしていない～満たしていない」などのように4択式で構成した。・ 加重平均は上記の選択肢に、+10点、+5点、-5点、-10点を掛けて回答者数で除して算出した。従って、最高点が10点で最低点がマイナス10点となる。・ 「無回答」は回答者数に含めていない。
グラフに関して	<ul style="list-style-type: none">・ 折れ線グラフは主に時系列変化を見る際に利用されるが、この報告書では加重平均を属性毎に比較する際に本来の棒グラフでは見にくくなるため、折れ線グラフで表現しているものもある。

<2> 回答企業のプロフィール

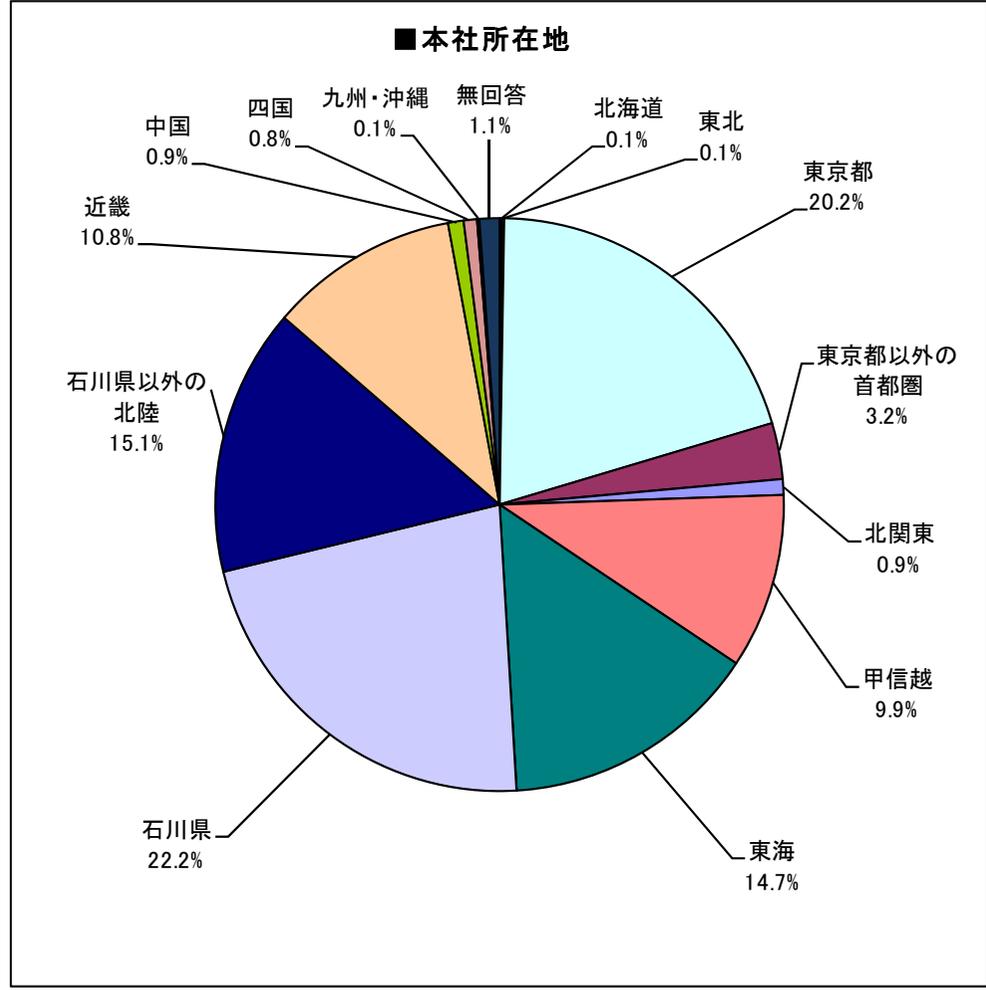
■ 本社所在地

- 今回の企業アンケートでは789社から回答があり、その基本的なプロフィールは下記の通りであった。
- 「本社所在地」として最も多かったのは「石川県」の22.2%であり、次いで、「東京都」が20.2%、「石川県以外の北陸」が15.1%、「東海」が14.7%、「近畿」が10.8%と続いており、ここまでの地域は10%を超えていた。
- 地域別の集計には、50社以上の回答があった地域を対象とした。それらは表中の太文字の地域（東京都、甲信越、東海、石川県、石川以外の北陸、近畿）となる。

■ 本社所在地内訳

地域	回答数	構成比
北海道	1	0.1%
東北	1	0.1%
東京都	159	20.2%
東京都以外の首都圏	25	3.2%
北関東	7	0.9%
甲信越	78	9.9%
東海	116	14.7%
石川県	175	22.2%
石川県以外の北陸	119	15.1%
近畿	85	10.8%
中国	7	0.9%
四国	6	0.8%
九州・沖縄	1	0.1%
無回答	9	1.1%
全体	789	100.0%

※50社以上の回答があった太文字の6地域を地域別集計に使用している。



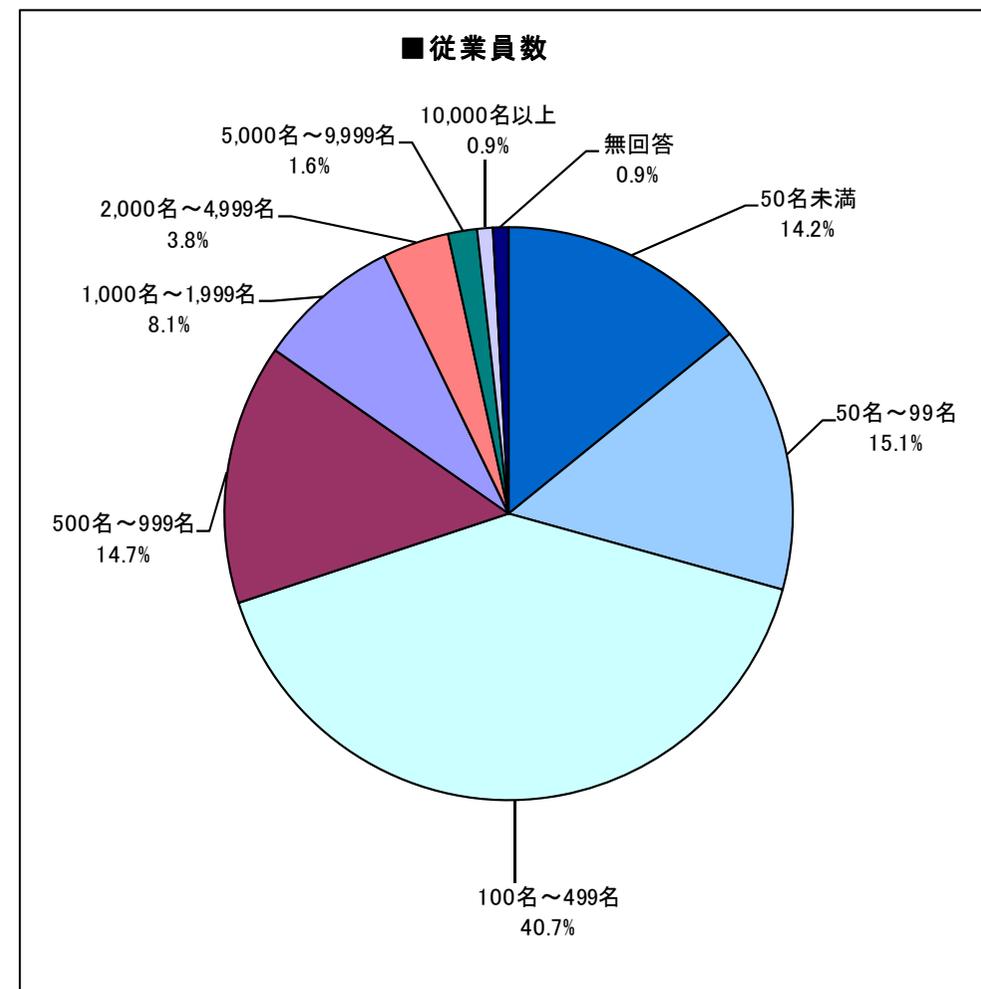
■従業員数

- 「従業員数」では「100名～499名」が40.7%と半数近く、次いで「50名～99名」が15.1%、「500名～999名」が14.7%、「50名未満」が14.2%と続いていた。
- 企業の属性別クロス集計では、「50名未満」と「50名～99名」を合わせた29.3%、「100名～499名」の40.7%、「500名以上」を全て合わせた29.2%の3つのグループで比較を行っている。

■従業員数内訳

従業員数	回答数	構成比1	構成比2 (クロス集計用)
50名未満	112	14.2%	29.3%
50名～99名	119	15.1%	
100名～499名	321	40.7%	40.7%
500名～999名	116	14.7%	29.2%
1,000名～1,999名	64	8.1%	
2,000名～4,999名	30	3.8%	
5,000名～9,999名	13	1.6%	
10,000名以上	7	0.9%	
無回答	7	0.9%	0.9%
総計	789	100.0%	100.0%

※「構成比2(クロス集計用)」は属性別比較で使用した。その際に「無回答」は除外して集計を行った。

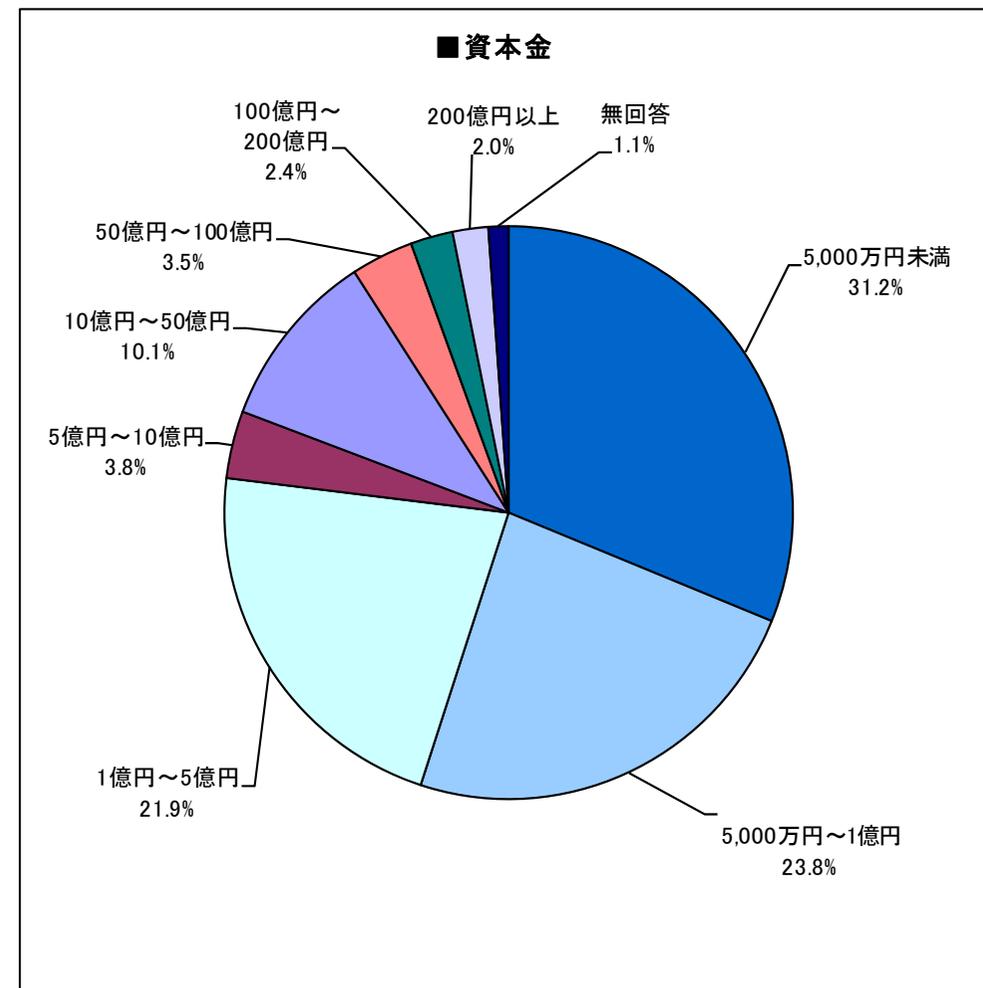


■ 資本金

- 「資本金」では「5,000万円未満」が31.2%で最も多く、次いで「5,000万円～1億円」が23.8%、「1億円～5億円」が21.9%となっており、この3つの区分で全体の76.9%を占めていた。
- 上記以外の企業は(無回答を除き)全て5億円以上の資本金であり、合計すると21.8%であった。

■ 資本金内訳

資本金	回答数	構成比
5,000万円未満	246	31.2%
5,000万円～1億円	188	23.8%
1億円～5億円	173	21.9%
5億円～10億円	30	3.8%
10億円～50億円	80	10.1%
50億円～100億円	28	3.5%
100億円～200億円	19	2.4%
200億円以上	16	2.0%
無回答	9	1.1%
総計	789	100.0%



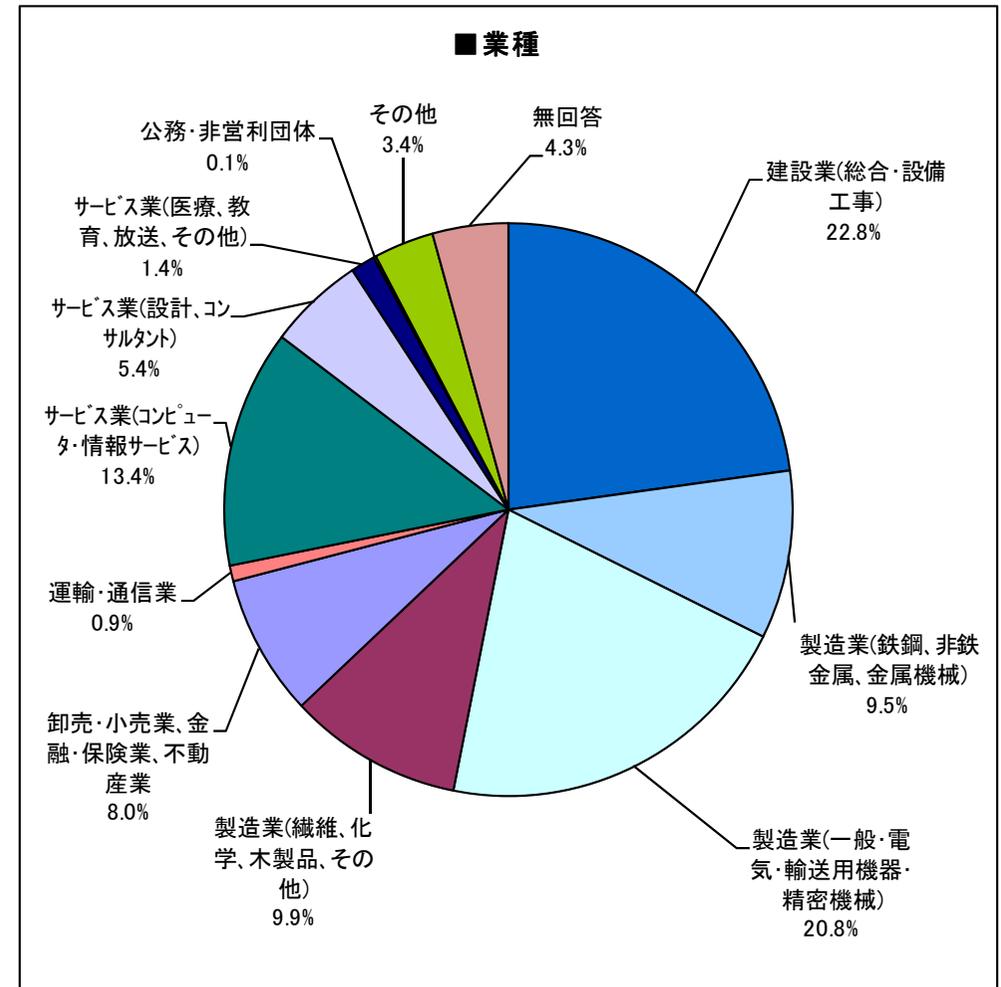
■業種

- 「業種」では「建設業(総合・設備工事)」が22.8%、「製造業(一般・電気・輸送用機器・精密機械)」が20.8%であり、この2つの業種は2割を超えていた。
- 上記に次いで、「サービス業(コンピュータ・情報サービス)」が13.4%、「製造業(繊維、化学、木製品、その他)」が9.9%、「製造業(鉄鋼、非鉄金属、金属機械)」が9.5%と続いていた。
- 業種別集計をするために、3つのグループにグループ分けを行った。「建設業(総合・設備工事)」は1つのグループとし、「製造業」関連の3つを2つめのグループ、その他の「サービス業関連」に「卸売・小売業、金融・保険業、不動産業」と「運輸・通信業」を加えたものを3つめのグループとした。

■業種内訳

業種	回答数	構成比1	構成比2 (クロス集計用)
建設業(総合・設備工事)	180	22.8%	22.8%
製造業(鉄鋼、非鉄金属、金属機械)	75	9.5%	40.2%
製造業(一般・電気・輸送用機器・精密機械)	164	20.8%	
製造業(繊維、化学、木製品、その他)	78	9.9%	
卸売・小売業、金融・保険業、不動産業	63	8.0%	29.2%
運輸・通信業	7	0.9%	
サービス業(コンピュータ・情報サービス)	106	13.4%	
サービス業(設計、コンサルタント)	43	5.4%	0.1%
サービス業(医療、教育、放送、その他)	11	1.4%	
公務・非営利団体	1	0.1%	
その他	27	3.4%	3.4%
無回答	34	4.3%	4.3%
全体	789	100.0%	100.0%

※「構成比2(クロス集計用)」は属性別比較で使用した。その際に「公務・非営利団体」「その他」「無回答」は除外して集計を行った。



■その他の業種(主要なもの)

ガス	広告制作業
ゲームソフト制作	射出成形用金型の設計・製造
サービス 技術開発支援	石材業
医療機器製造	専門サービス業(研究・技術)
機械修理業	専門技術サービス業
技術サービス業	総合技術サービス業
警備業	電気・ガス・エネルギー
建設機械レンタル業	農業
建設用機械器具	農業協同組合
工作機械のサービス	不動産業

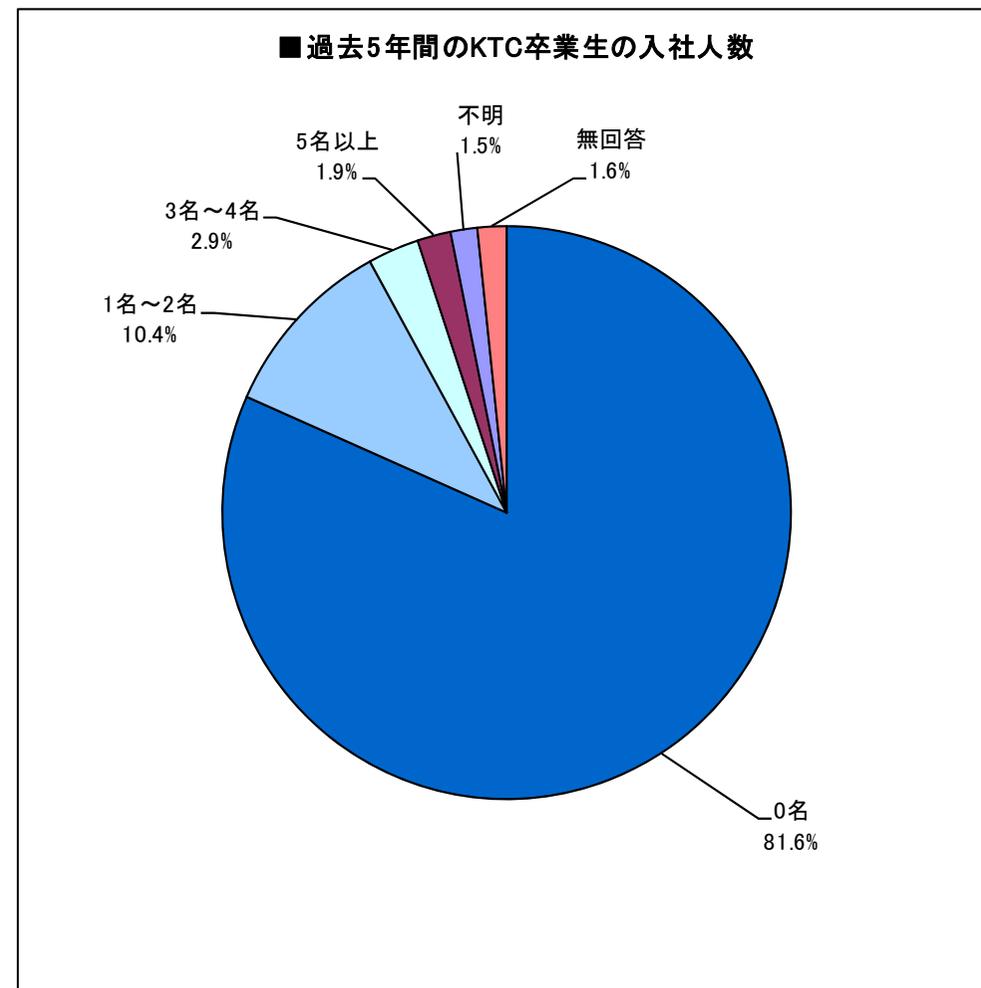
■過去5年間のKTC卒業生の入社人数

- 「過去5年間に金沢高専の卒業生はおおよそ何名程度入社していますか？」と聞いたところ、「0名」が81.6%と大部分を占める結果となった。
- 上記以外では「1名～2名」が10.4%、「3名～4名」が2.9%、「5名以上」が1.9%となっていた。
- 属性別の比較に関しては、「金沢高専卒業生の入社あり」の15.2%と、「なし」の81.6%の2つのグループで比較を行った。

■入社人数内訳

入社人数	回答数	構成比1	構成比2 (クロス集計用)
0名	644	81.6%	81.6%
1名～2名	82	10.4%	
3名～4名	23	2.9%	15.2%
5名以上	15	1.9%	
不明	12	1.5%	1.5%
無回答	13	1.6%	1.6%
総計	789	100.0%	100.0%

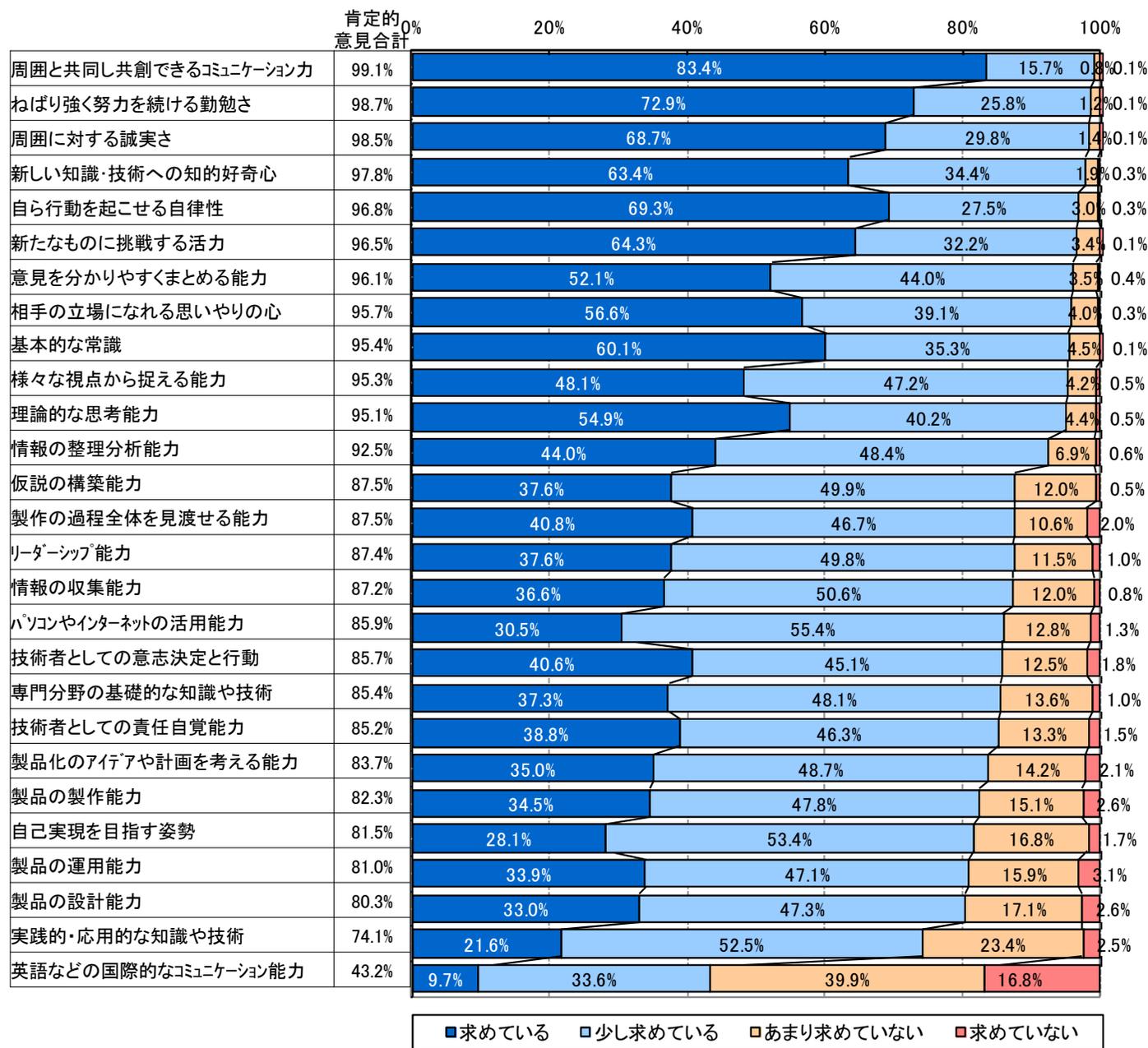
※「構成比2(クロス集計用)」は属性別比較で使用した。その際に「不明」「無回答」は除外して集計を行った。



■新入社員に求める能力

- 新入社員に最も求められていた能力は「コミュニケーション力(周囲と共同し共創できるコミュニケーション力)」であり、求めるという意見は99.1%と、ほとんどの企業が挙げる重要な能力であった。
- 上記に次いで「勤勉さ(ねばり強く努力を続ける勤勉さ)」「誠実さ(周囲に対する誠実さ)」「知的好奇心(新しい知識・技術への知的好奇心)」「自律性(自ら行動を起こせる自律性)」が続いており、ここまでがトップ5であった。
- 「求めている」という回答だけで見ても「コミュニケーション力」「勤勉さ」の重視度は高かったが、それ以外では「自律性」「基本的な常識」「理論的な思考能力」などが目立っており、これらの能力を強く求めている企業も多いようであった。
- 一方、最も肯定的な意見が少なかったのは「英語(英語などの国際的なコミュニケーション能力)」であり、求めているという意見は43.2%と半数以下であり、「求めていない」という回答を見ても16.8%と、目立って多かった。
- 全体の傾向を見ると、重視されるものの上位には「人間力」と言われるものが多いように思われる。そして、技術や情報処理能力、思考方法やパソコンの活用能力、具体的な制作・設計・運用能力といった実践的な能力は、求めているという意見は少なくなかったものの、上位に入るものは少なかった。

■新入社員に求める能力



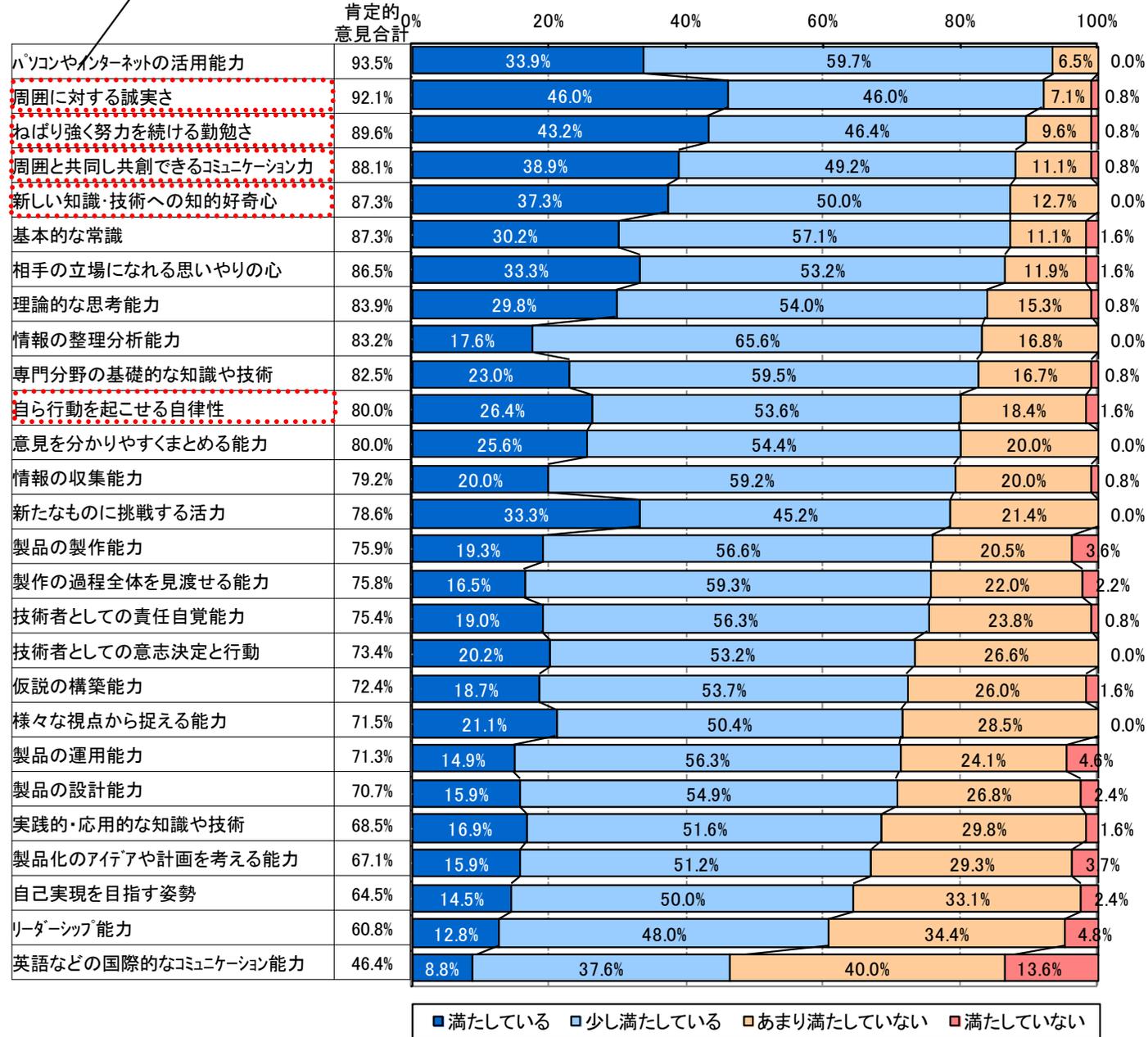
■求めている □少し求めている □あまり求めていない ■求めていない

■金沢高専の卒業生の能力

- 金沢高専の卒業生が入社している企業に対しては、「金沢高専の卒業生の能力」の評価を聞いた。
- 「満たしている」と「少し満たしている」の合計が最も多かったのは、「パソコンやインターネットの活用能力」であり、93.5%が肯定的な意見であった。ただし、59.7%は「少し満たしている」という意見であるため、「まあまあ認められる」といった評価になると思われる。
- 上記に次いで、「誠実さ」「勤勉さ」「コミュニケーション力」「知的好奇心」と続いていた。この4項目は前項の「新入社員に求める能力」とよく一致しており、金沢高専の卒業生は企業が求める能力の多くを満たしていると言える。
- 一方、満たしているという意見が最も少なかったのは「英語(英語などの国際的なコミュニケーション能力)」であり、肯定的な意見は46.4%であった。
- 上記以外では「リーダーシップ能力」「自己実現を目指す姿勢」「製品化のアイデアや計画を考える能力」「実践的・応用的な知識や技術」といったものが足りない指摘されており、このあたりが金沢高専卒業生の弱点とも言える。

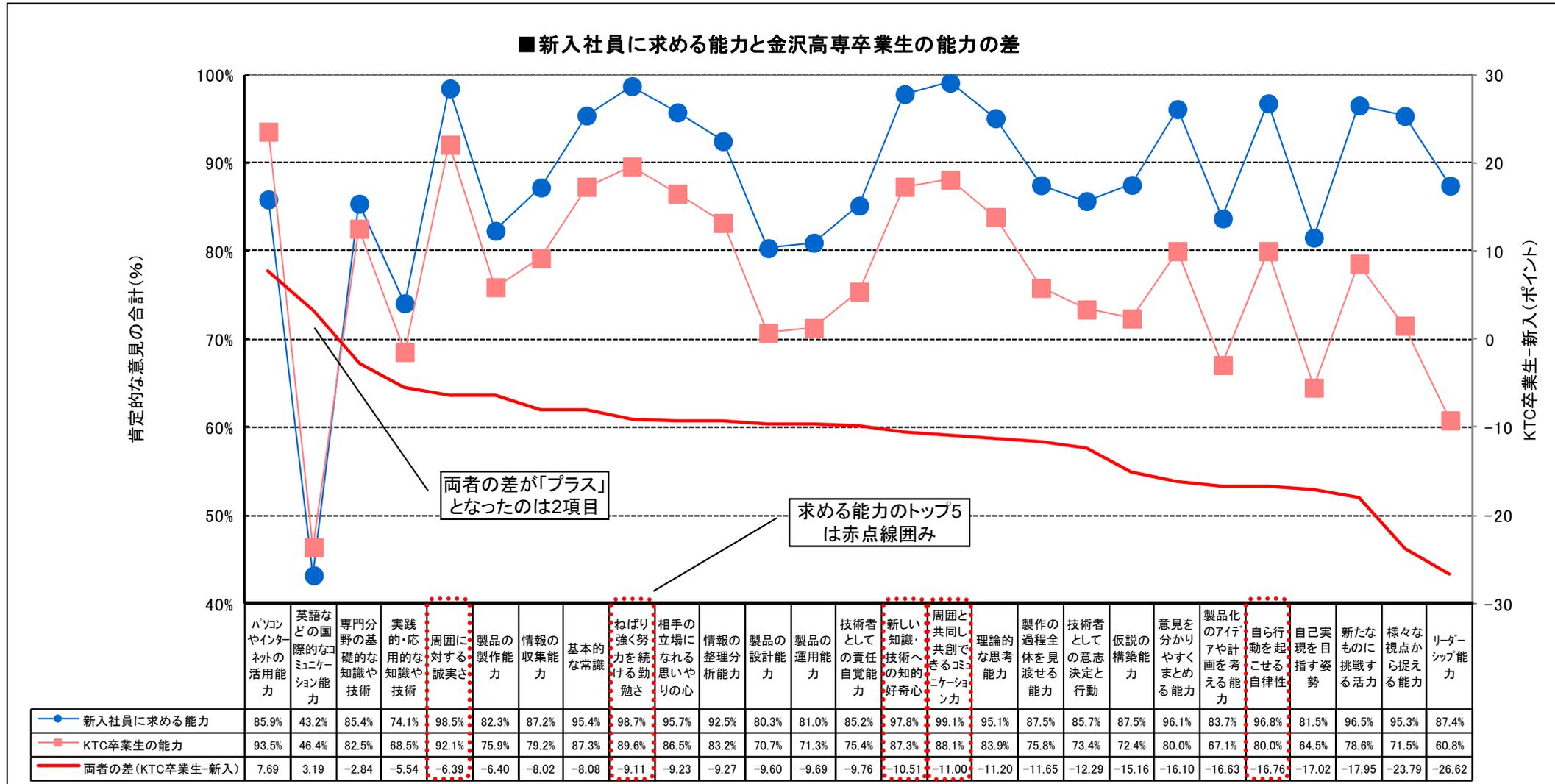
求める能力のトップ5
は赤点線囲み

■金沢高専の卒業生の能力



■新入社員に求める能力と金沢高専卒業生の能力の差

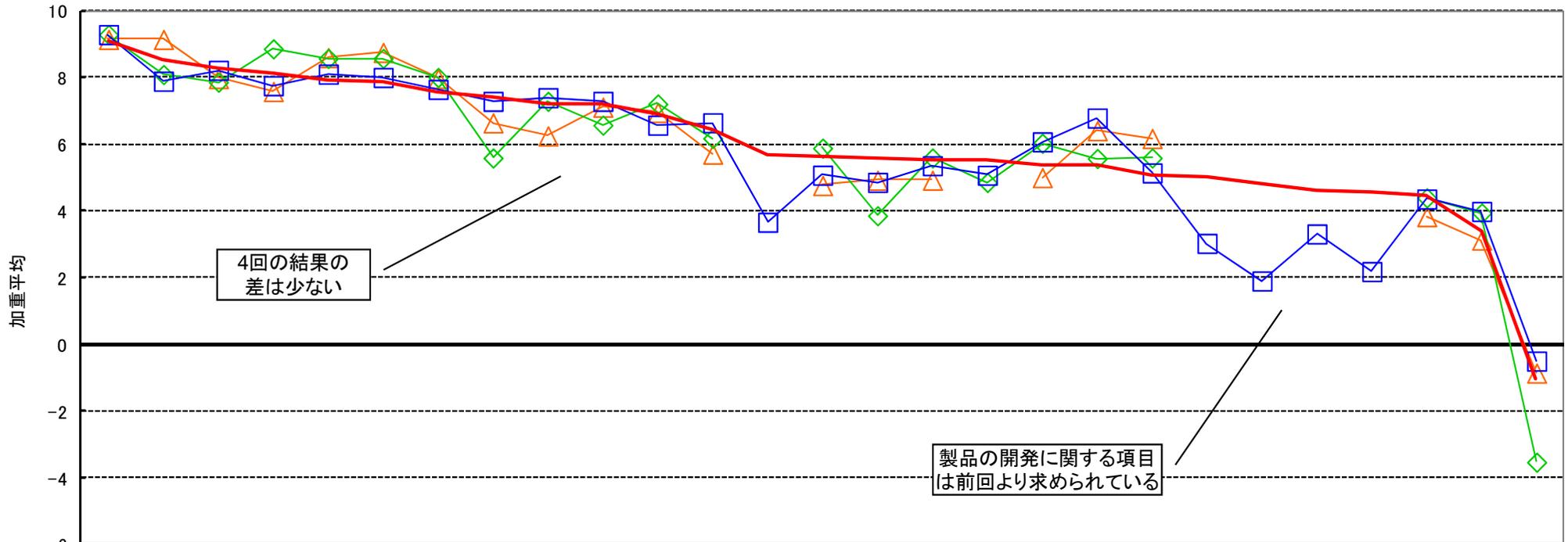
- 企業が「新入社員に求める能力」と、「金沢高専卒業生の能力」の肯定的な意見の合計、そして両者の差(ポイント)を同じグラフにプロットし、その差によってソートしたところ、卒業生の能力の評価の方が高かったのは、「パソコンやインターネットの活用能力」と「英語などの国際的なコミュニケーション能力」の2項目であった。これらについては求められる以上の能力を備えていると言える。
- 「専門分野の基礎的な知識や技術」「実践的・応用的な知識や技術」「製品の製作能力」「情報の収集能力」など、専門的・実践的な能力の評価は求められているものとの差が少なめであり、卒業生の強みと言える。
- 新入社員に求める能力トップ5を赤点線で囲んでいるが、卒業生の能力との差が大きかったのは「自ら行動を起こせる自律性」であった。その他、「リーダーシップ」「挑戦する活力」「自己実現を目指す姿勢」など、KTC卒業生は自ら活発に行動するという点に弱みがありそうであった。



■新入社員に求める能力の経年変化

- 新入社員に求める能力はH15、H20、H23、H28(今回)の4回聞いている。H28以外は金沢工大卒業生が入社した企業には配布していないので、回答企業数も大きく異なるなど条件に差があるが、確認のため経年変化を見た。これに関しては加重平均で比較している。
- 全体の傾向を見ると、細かい差はあるものの4回の結果の差は非常に少なく、特定の年度が高かったり、低かったりといった特徴は見られず、新入社員に求める能力に対しては年数を経ても大きな差がないと言えそうであった。
- 製品の製作過程や設計、製作、運用能力に関する5つの項目はH23に加えたものであるが、これらに関しては前回より、「求めている」という意見が増加していた。この変化の理由は不明であるが、分析のためには継続的に調査をしていく必要があると思われる。

■新入社員に求める能力 経年変化

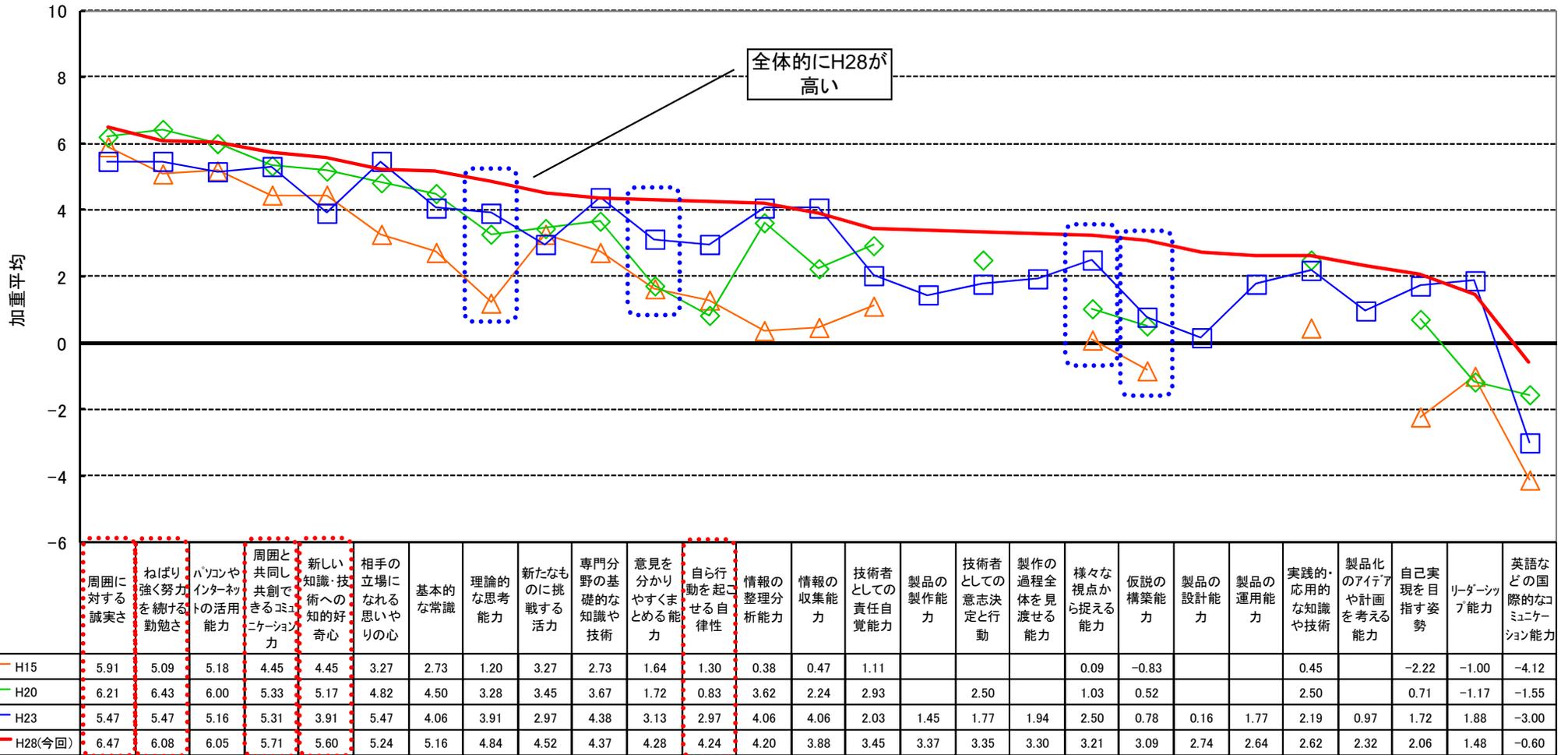


	周囲と共同し 共創できる コミュニケーション 力	ねばり 強く努力 を続ける 勤勉さ	周囲に 対する 誠実さ	自ら行 動を起 こせる 自律性	新しい 知識・技 術への 知的好 奇心	新たなも のに挑 戦する 活力	基本的 な常識	相手の 立場に なれる 思いや りの心	理論的 な思考 能力	意見を 分かり やすく とめる 能力	様々な 視点か ら捉え る能力	情報の 整理分 析能力	製作の 過程全 体を見 渡せる 能力	仮説の 構築能 力	リーダ ーシッ プ能力	情報の 収集能 力	技術者 としての 意志決 定と行 動	技術者 としての 責任自 覚能力	専門分 野の基 礎的な 知識や 技術	パソコン やイン ターネ ットの 活用能 力	製品化 のアイ デアや 計画を 考える 能力	製品の 製作能 力	製品の 運用能 力	製品の 設計能 力	自己実 現を目 指す姿 勢	実践的 ・応用 的な知 識や技 術	英語な どの国 際的な コミュニ ケーション 能力
△ H15	9.14	9.14	7.97	7.58	8.59	8.75	7.97	6.64	6.25	7.11	6.95	5.70		4.76	4.92	4.92	5.00	6.41	6.17						3.83	3.13	-0.86
◇ H20	9.29	8.09	7.86	8.86	8.57	8.57	8.00	5.59	7.29	6.57	7.21	6.18		5.88	3.86	5.59	4.85	6.03	5.57	5.59					4.39	3.94	-3.53
□ H23	9.29	7.89	8.21	7.75	8.10	8.00	7.64	7.29	7.39	7.29	6.57	6.64	3.66	5.07	4.86	5.36	5.07	6.07	6.79	5.14	3.03	1.90	3.31	2.18	4.36	3.99	-0.50
● H28(今回)	9.07	8.51	8.27	8.13	7.94	7.86	7.54	7.39	7.22	7.20	6.91	6.42	5.69	5.60	5.57	5.51	5.51	5.38	5.35	5.05	5.02	4.83	4.63	4.55	4.47	3.36	-1.04

■金沢高専卒業生の能力の経年変化

- 調査の条件が異なっているにも関わらず、前項で新入社員に求める能力に経年変化が見られないことから、調査方法や対象企業による影響はあまりないものと考えられる。その前提で金沢高専卒業生の能力の経年変化を見ると、全体的に以前と比べて評価が上がっていると言える。
- 徐々に評価が上がっているもの(青点線囲み)を見ると、「理論的な思考能力」「意見を分かりやすくまとめる能力」「様々な視点から捉える能力」「仮説の構築能力」など、思考方法や考えのまとめ方、物事の捉え方といった点の評価が上がっていると言えそうであった。
- 新入社員に求められる能力(赤点線囲み)を見ると、「誠実さ」「勤勉さ」「コミュニケーション力」には大きな差が見られなかったが、「知的好奇心」「自律性」は以前より高い評価となっていた。

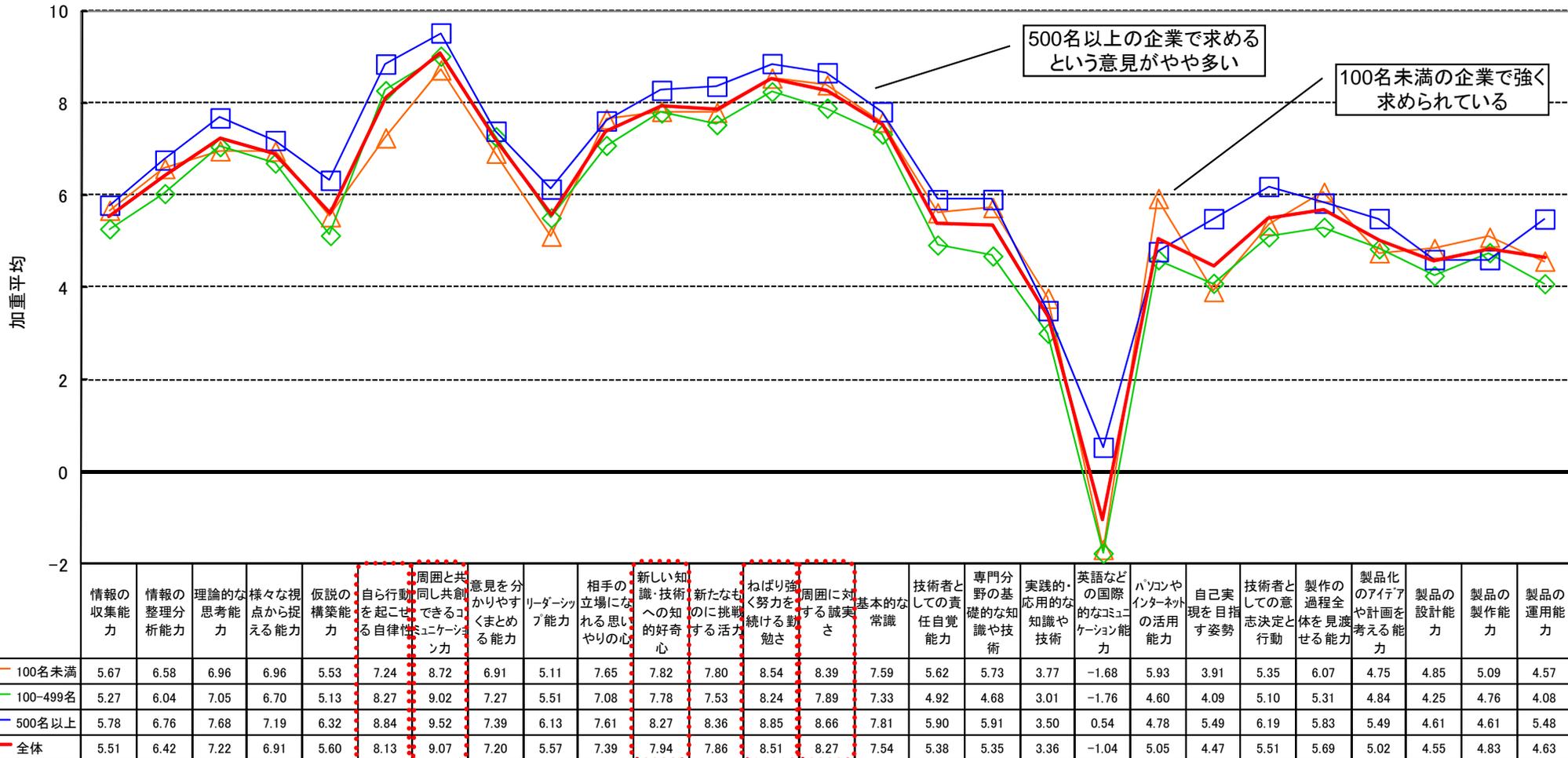
■金沢高専卒業生の能力 経年変化



■新入社員に求める能力の企業規模別比較

- 属性別比較は加重平均で比較を行っている。また、比較をしやすいように全てソートせず、調査票と同じ並び順としている。企業規模は「300名以上」を「大企業」の定義としているが、ここでは「500名以上」を「大企業」、「100～499名」を「中企業」、「100名未満」を「小企業」としてコメントしている。
- 「新入社員に求める能力」を企業の規模別に比較したところ、あまり大きな特徴は見られなかったが、多くの項目で「500名以上」の大企業で強く求められている項目が多く、大きな企業ほど万遍なく色々な能力を求めていると言えそうであった。
- 「100～499名」「100名未満」の企業の回答結果は似た傾向であり、大きな特徴は見られなかったが、「パソコンやインターネットの活用能力」については「100名未満」の企業で強く求められており、小企業ではこの分野の対応が遅れている様子がうかがえた。

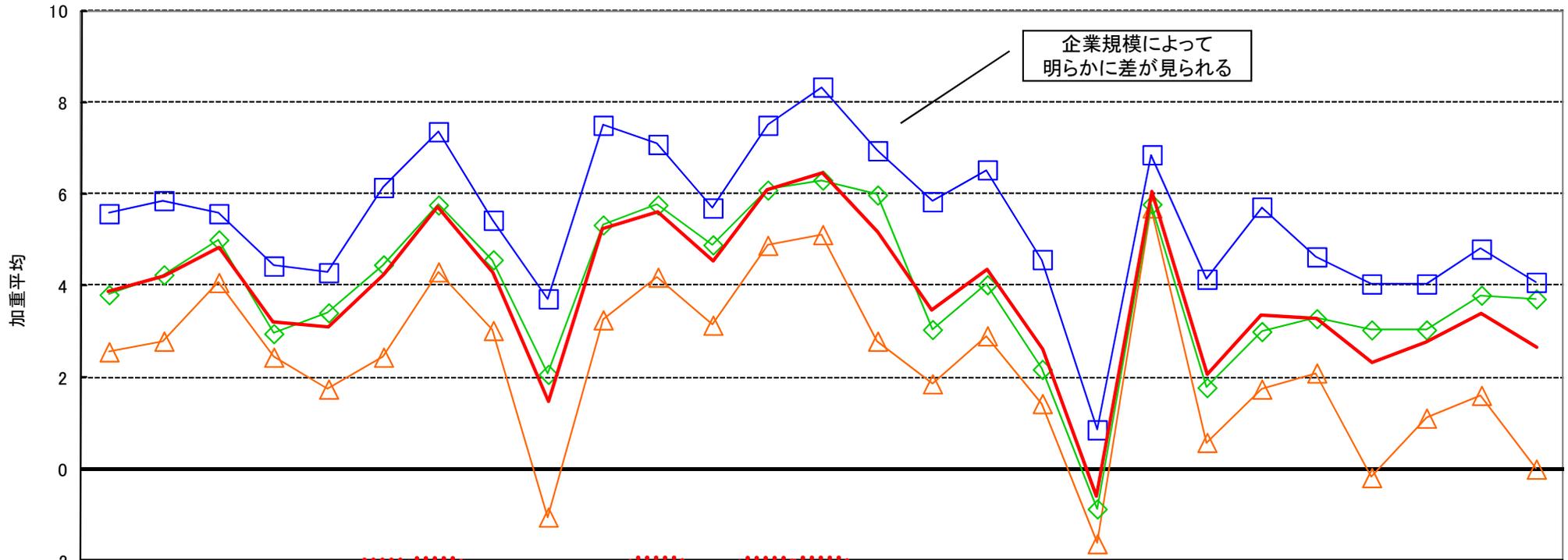
■新入社員に求める能力 企業規模別比較



■金沢高専卒業生の能力の企業規模別比較

- 「金沢高専卒業生の能力」を企業規模別に見たところ、従業員数が多い企業ほど評価が高く、従業員が少ない企業ほど評価が厳しいという傾向が見られ、全項目で明らかに評価に差がついていた。
- 「500名以上」の大企業は全ての項目で金沢高専卒業生の能力を高く評価していた。
- 一方、全ての項目で最も厳しい評価となっていたのは「100名未満」の小企業であり、「リーダーシップ能力」「英語などの国際的なコミュニケーション能力」「製品化のアイデアや計画を考える能力」はマイナス評価となっていた。
- 「100～499名」の中企業の評価は全て中庸で、マイナスとなったのは「英語などの国際的なコミュニケーション能力」だけであった。

■金沢高専卒業生の能力 企業規模別比較

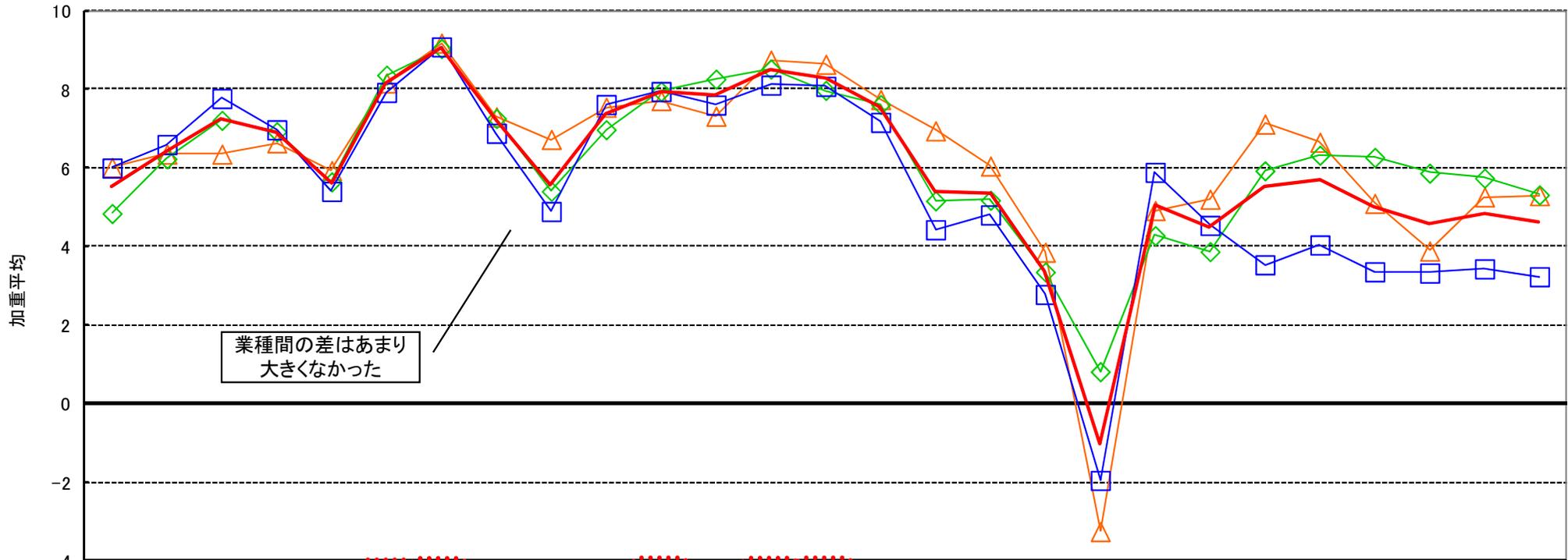


	情報の収集能力	情報の整理分析能力	理論的な思考能力	様々な視点から捉える能力	仮説の構築能力	自ら行動を起こせる自律性	周囲と共同して取り組めるコミュニケーション力	意見を分かりやすくまとめる能力	リーダーシップ能力	相手の立場になれる思いやりの心	新しい知識・技術への知的な好奇心	新たなものに挑戦する活力	ねばり強く努力を続ける動機	周囲に対する誠実さ	基本的な常識	技術者としての責任自覚能力	専門分野の基礎的な知識や技術	実践的・応用的な知識や技術	英語などの国際的なコミュニケーション能力	パソコンやインターネットの活用能力	自己実現を目指す姿勢	技術者としての意志決定と行動	製作の過程全体を見渡せる能力	製品化のアイデアや計画を考える能力	製品の設計能力	製品の製作能力	製品の運用能力
100名未満	2.56	2.79	4.07	2.44	1.74	2.44	4.30	3.02	-1.05	3.26	4.19	3.14	4.88	5.12	2.79	1.86	2.91	1.43	-1.63	5.70	0.58	1.74	2.10	-0.19	1.11	1.61	0.00
100-499名	3.80	4.24	5.00	2.95	3.41	4.46	5.76	4.57	2.07	5.33	5.76	4.89	6.09	6.30	5.98	3.04	4.02	2.17	-0.87	5.78	1.78	3.00	3.28	3.04	3.04	3.79	3.71
500名以上	5.57	5.86	5.57	4.43	4.29	6.14	7.36	5.43	3.71	7.50	7.08	5.69	7.50	8.33	6.94	5.83	6.53	4.57	0.86	6.86	4.14	5.71	4.63	4.04	4.04	4.80	4.07
全体	3.88	4.20	4.84	3.21	3.09	4.24	5.71	4.28	1.48	5.24	5.60	4.52	6.08	6.47	5.16	3.45	4.37	2.62	-0.60	6.05	2.06	3.35	3.30	2.32	2.74	3.37	2.64

■新入社員に求める能力の業種別比較

- 企業の業種別に「新入社員に求める能力」を比較したところ、業種間の差があまり大きくないが、いくつかの特徴が見られた。
- 「建設業」は「リーダーシップ」「技術者としての責任自覚能力」「技術者としての意志決定と行動」を求めているが、「理論的な思考能力」「英語などの国際的なコミュニケーション能力」は重視していなかった。
- 「製造業」は「英語などの国際的なコミュニケーション能力」「製品化のアイデアや計画を考える能力」「製品の設計能力」を求めているが、「情報の収集能力」は重視していなかった。
- 「サービス業」は「パソコンやインターネットの活用能力」を求めているが、「技術者としての意志決定と行動」と「製品化、製品の設計・製作・運用」といった製品開発に関係する一連の能力を求める意見が目立って少なく、業界の特徴がよく現れる結果となっていた。

■新入社員に求める能力 業種別比較



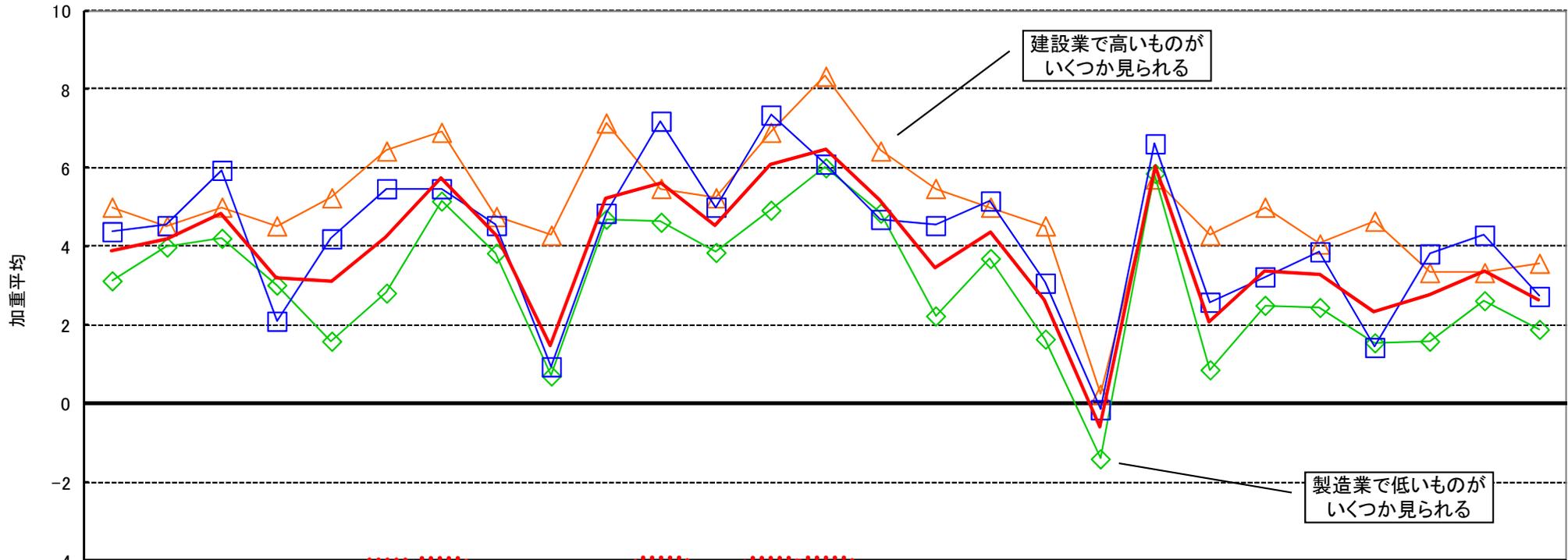
業種間の差はあまり大きくなかった

	情報の収集能力	情報の整理分析能力	理論的な思考能力	様々な視点から捉える能力	仮説の構築能力	自ら行動を起こせる自律性	周囲と共同して取り組めるコミュニケーション力	意見を分かりやすくまとめる能力	リーダーシップ能力	相手の立場に立てる思いやりの心	新しい知識・技術への知的な好奇心	新たなものに挑戦する活力	ねばり強く努力を続ける動機	周囲に対する誠実さ	基本的な常識	技術者としての責任自覚能力	専門分野の基礎的な知識や技術	実践的な知識や技術	英語などの国際的なコミュニケーション能力	パソコンやインターネットの活用能力	自己実現を目指す姿勢	技術者としての意志決定と行動	製作の過程全体を見渡せる能力	製品化のアイデアや計画を考える能力	製品の設計能力	製品の製作能力	製品の運用能力
建設業	6.01	6.35	6.35	6.64	5.93	8.16	9.18	7.30	6.72	7.54	7.71	7.31	8.74	8.64	7.74	6.94	6.05	3.85	-3.26	4.91	5.20	7.11	6.65	5.10	3.88	5.26	5.29
製造業	4.84	6.23	7.21	6.92	5.64	8.36	9.04	7.26	5.40	6.97	7.95	8.26	8.51	7.97	7.61	5.16	5.18	3.35	0.81	4.27	3.87	5.93	6.32	6.27	5.86	5.74	5.31
サービス業	6.00	6.59	7.77	6.97	5.40	7.92	9.08	6.88	4.89	7.61	7.94	7.60	8.11	8.08	7.16	4.42	4.80	2.78	-1.96	5.88	4.54	3.53	4.04	3.35	3.32	3.43	3.23
全体	5.51	6.42	7.22	6.91	5.60	8.13	9.07	7.20	5.57	7.39	7.94	7.86	8.51	8.27	7.54	5.38	5.35	3.36	-1.04	5.05	4.47	5.51	5.69	5.02	4.55	4.83	4.63

■金沢高専卒業生の能力の業種別比較

- 企業の業種別に「金沢高専卒業生の能力」を比較したところ、ほとんどの項目で「製造業」の評価が厳しく、新入社員に求められている能力トップ5の中では「自律性」「知的な好奇心」「勤勉さ」の評価が低かった。その他でも「製造業」は、「仮説の構築能力」「技術者としての責任自覚能力」の評価が他の業種に比べて大変低く、他にも「製品化、製品の設計・製作・運用」といった製品開発に関係する一連の能力も低めであった。
- 一方、「建設業」では評価の高い項目がいくつか見られ、新入社員に求められている「自律性」「コミュニケーション力」「誠実さ」が高い評価となっていた。それ以外でも「リーダーシップ能力」「思いやりの心」「実践的・応用的な力」「自己実現を目指す姿勢」「製品化のアイデアや計画を考える能力」が高めであった。
- 「サービス業」は全般的に中庸な評価であったが、「理論的な思考能力」「知的な好奇心」の評価は高めであった。

■金沢高専卒業生の能力 業種別比較

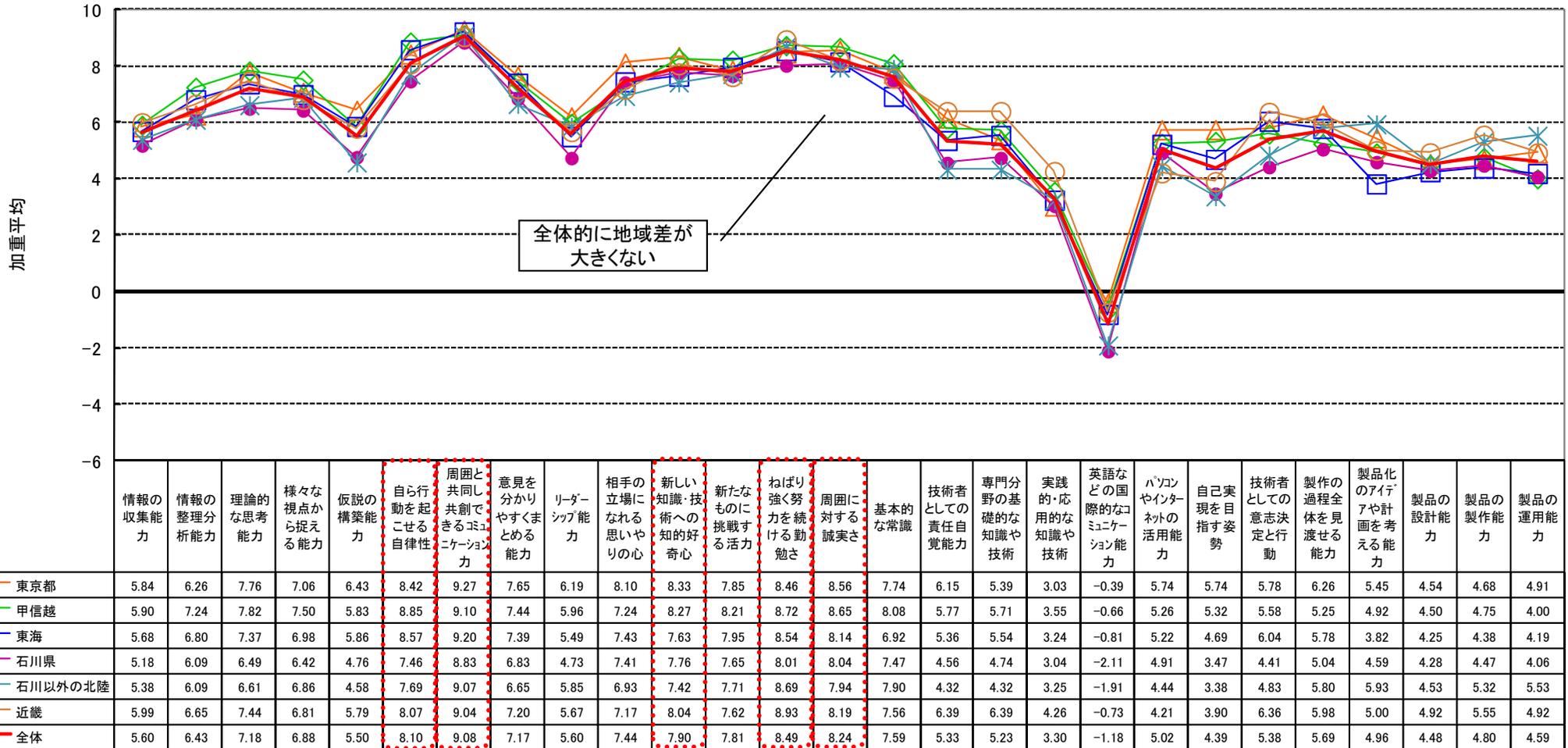


	情報の収集能力	情報の整理分析能力	理論的な思考能力	様々な視点から捉える能力	仮説の構築能力	自ら行動を起こせる自律性	周囲と共同して取り組めるコミュニケーション力	意見を分かちやすくてまとめる能力	リーダーシップ能力	相手の立場に立てる思いやりの心	新しい知識・技術への知的な好奇心	新たなものに挑戦する活力	ねばり強く努力を続ける勤勉さ	周囲に対する誠実さ	基本的な常識	技術者としての責任自覚能力	専門分野の基礎的な知識や技術	実践的・応用的な知識や技術	英語などの国際的なコミュニケーション能力	パソコンやインターネットの活用能力	自己実現を目指す姿勢	技術者としての意志決定と行動	製作の過程全体を見渡せる能力	製品化のアイデアや計画を考える能力	製品の設計能力	製品の製作能力	製品の運用能力
建設業	5.00	4.52	5.00	4.52	5.24	6.43	6.90	4.76	4.29	7.14	5.48	5.24	6.90	8.33	6.43	5.48	5.00	4.52	0.24	5.71	4.29	5.00	4.06	4.64	3.33	3.33	3.57
製造業	3.13	3.98	4.21	3.02	1.59	2.81	5.15	3.83	0.70	4.69	4.62	3.85	4.92	6.00	4.85	2.23	3.69	1.64	-1.41	5.86	0.86	2.50	2.45	1.55	1.59	2.62	1.89
サービス業	4.38	4.53	5.94	2.10	4.19	5.47	5.47	4.53	0.94	4.84	7.19	5.00	7.34	6.09	4.69	4.53	5.16	3.06	-0.16	6.61	2.58	3.23	3.86	1.43	3.81	4.29	2.73
全体	3.88	4.20	4.84	3.21	3.09	4.24	5.71	4.28	1.48	5.24	5.60	4.52	6.08	6.47	5.16	3.45	4.37	2.62	-0.60	6.05	2.06	3.35	3.30	2.32	2.74	3.37	2.64

■新入社員に求める能力の地域別比較

- 「新入社員に求める能力」を地域別に比較したが、地域による差はあまり大きくなく、いずれの地域でも新入社員に求める能力に違いはないようであった。
- 差は小さいものの、「石川県」「石川以外の北陸」の企業でやや低いものが見られ、北陸地方の企業では新入社員に求める能力がやや低いようであった。
- 一方、全体的に高い地域は見られなかったが、「近畿」で「技術者としての責任自覚能力」「専門分野の基礎的な知識や技術」「実践的・応用的な知識や技術」といった、技術者としての能力をやや強く求めている傾向が見られた。

■新入社員に求める能力 地域別比較

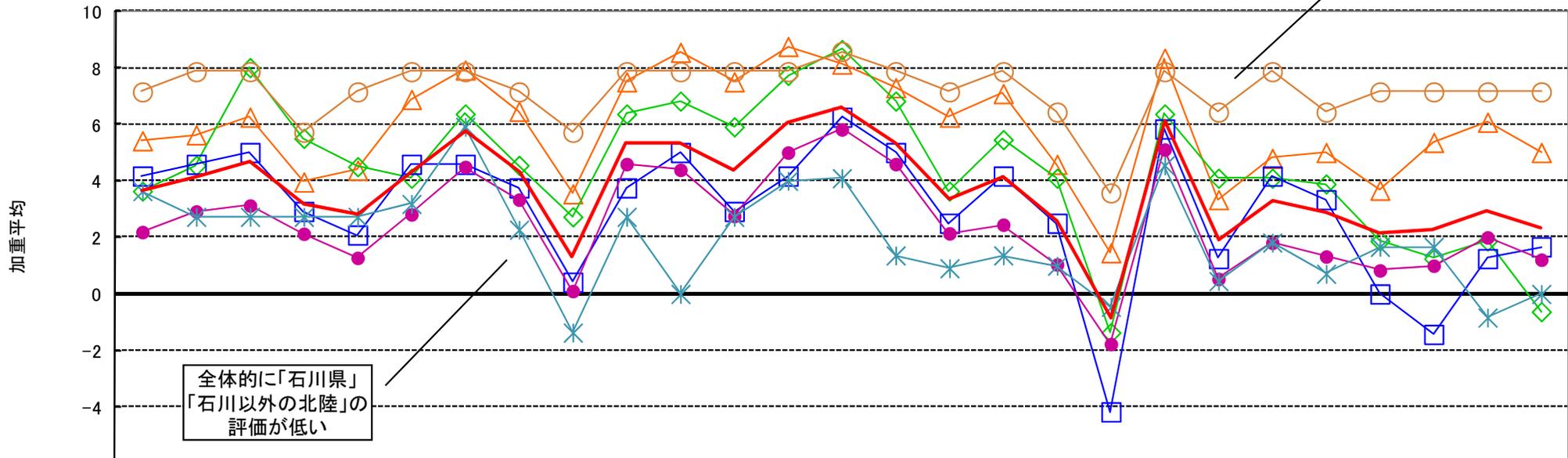


■金沢高専卒業生の能力の地域別比較

- 「金沢高専卒業生の能力」を地域別に比較したところ、地域による差が非常に大きく、地域の特徴がよく出る結果となっていた。前項の「新入社員に求める能力」と対比してみると、新入社員に求める能力には地域差がないが、金沢高専卒業生の評価は地域によって大きく異なっていた。
- 全体的に金沢高専卒業生を高く評価していたのは「近畿」の企業であった。次いで、「東京都」「甲信越」が高めで得あり、「東京都」は「新しい知識・技術への知的好奇心」「ねばり強く努力を続ける勤勉さ」の高さが目立っていた。
- 一方、評価が低めだったのは「石川県」と「石川以外の北陸」の2つの地域であった。そして、「東海」もやや低めの項目が見られ、KTCの卒業生は地元とその周辺の企業からやや低めに評価されていると言えそうであった。

■金沢高専卒業生の能力 地域別比較

全体的に「近畿」が高い

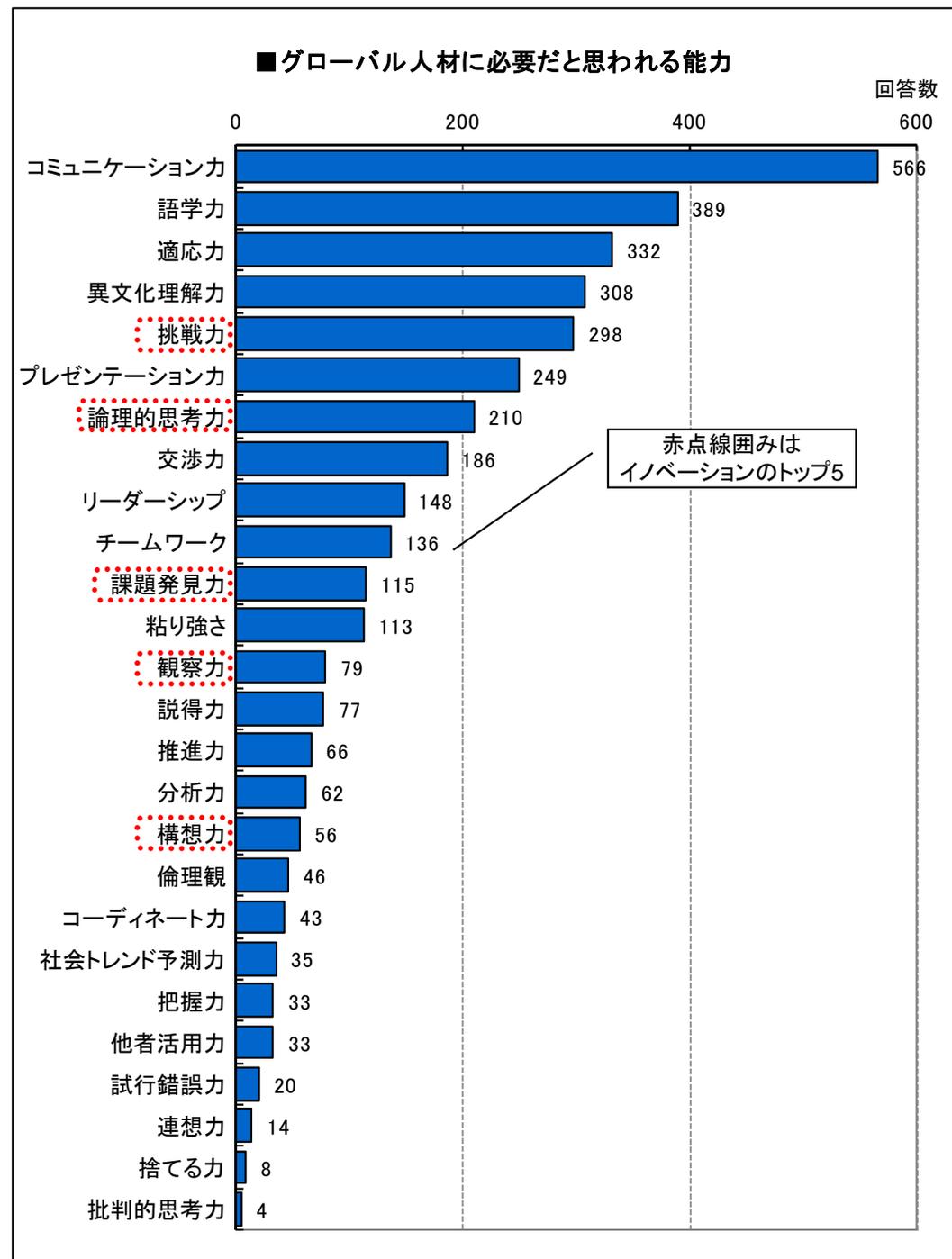


全体的に「石川県」「石川以外の北陸」の評価が低い

	情報の収集能力	情報の整理分析能力	理論的な思考能力	様々な視点から捉える能力	仮説の構築能力	自らの行動を起す自律性	周囲と共同で創出できるコミュニケーション力	意見を分かりやすくまとめる能力	リーダーシップ能力	相手の立場になれる思いやり	新しい知識・技術への知的好奇心	新たなものに挑戦する活力	ねばり強く努力を続ける勤勉さ	周囲に対する誠実さ	基本的な常識	技術者としての責任自覚能力	専門分野の基礎的な知識や技術	実践的・応用的な知識や技術	英語などの国際的なコミュニケーション能力	パソコンやインターネットの活用能力	自己実現を目指す姿勢	技術者としての意志決定と行動	製作の過程全体を見渡せる能力	製品化のアイデアや計画を考える能力	製品の設計能力	製品の製作能力	製品の運用能力
東京都	5.42	5.63	6.25	3.96	4.38	6.88	7.92	6.46	3.54	7.50	8.54	7.50	8.75	8.13	7.29	6.25	7.08	4.58	1.46	8.33	3.33	4.79	5.00	3.67	5.36	6.07	5.00
甲信越	3.64	4.55	8.00	5.50	4.50	4.09	6.36	4.55	2.73	6.36	6.82	5.91	7.73	8.64	6.82	3.64	5.45	4.09	-1.36	6.36	4.09	4.09	3.89	1.88	1.25	1.88	-0.63
東海	4.17	4.58	5.00	2.92	2.08	4.58	4.58	3.75	0.42	3.75	5.00	2.92	4.17	6.25	5.00	2.50	4.17	2.50	-4.17	5.83	1.25	4.17	3.33	0.00	-1.43	1.25	1.67
石川県	2.19	2.92	3.13	2.13	1.28	2.81	4.49	3.33	0.10	4.59	4.39	2.76	5.00	5.82	4.59	2.14	2.45	1.04	-1.77	5.11	0.53	1.81	1.32	0.83	1.00	2.00	1.21
石川以外の北陸	3.64	2.73	2.73	2.73	2.73	3.18	5.91	2.27	-1.36	2.73	0.00	2.73	4.00	4.09	1.36	0.91	1.36	1.00	-0.45	4.55	0.45	1.82	0.71	1.67	1.67	-0.83	0.00
近畿	7.14	7.86	7.86	5.71	7.14	7.86	7.86	7.14	5.71	7.86	7.86	7.86	7.86	8.57	7.86	7.14	7.86	6.43	3.57	7.86	6.43	7.86	6.43	7.14	7.14	7.14	7.14
全体	3.67	4.12	4.69	3.20	2.84	4.34	5.75	4.29	1.33	5.31	5.35	4.39	6.06	6.62	5.31	3.38	4.12	2.59	-0.84	6.12	1.92	3.30	2.88	2.15	2.29	2.95	2.30

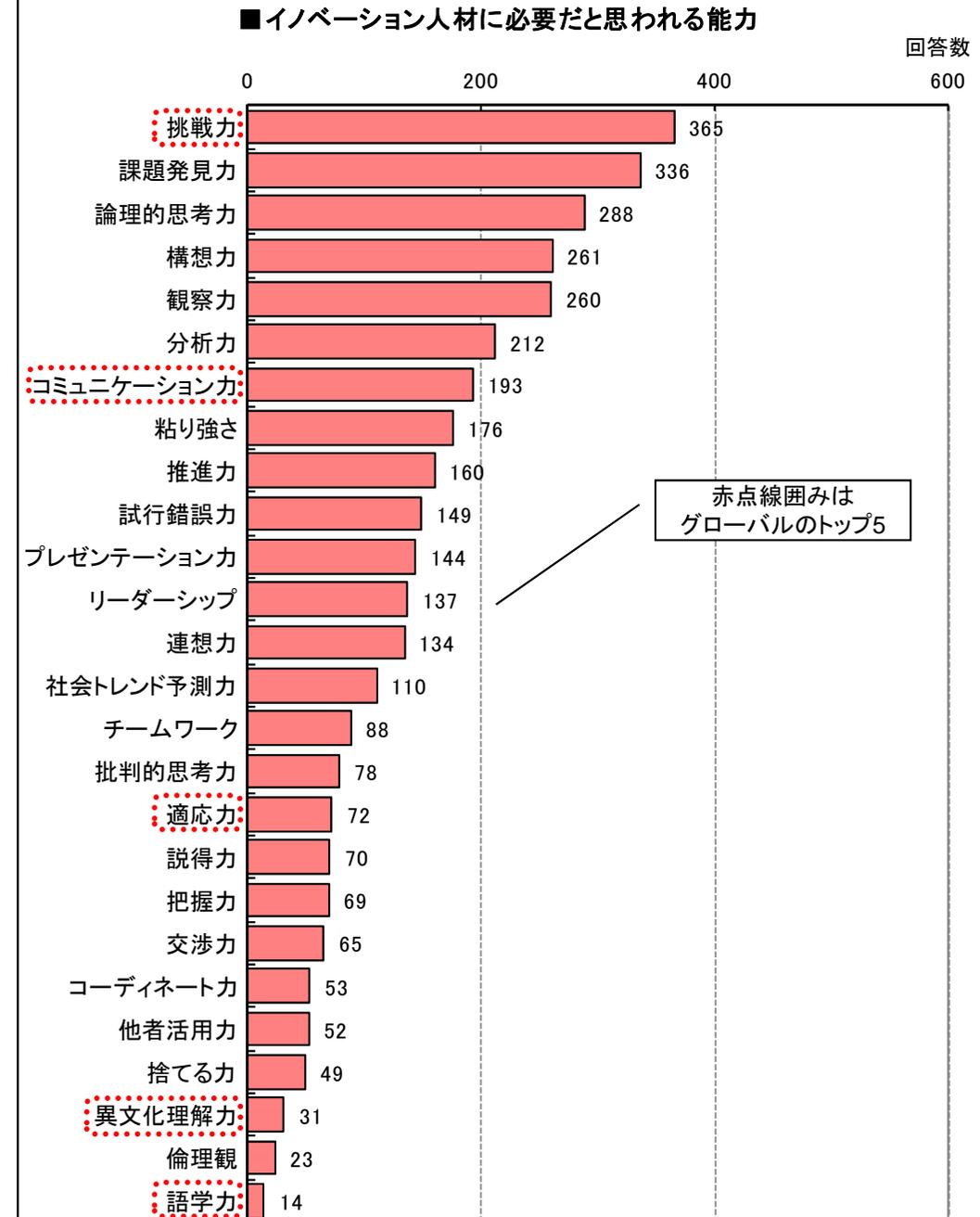
■グローバル人材に求める能力

- 「グローバル人材」に必要だと思われる能力は、26の選択肢から5つを選ぶ形式で聞いた。
- 最も求められていたのは「コミュニケーション能力」で、他と比べても突出しており、非常に重視されていることが分かった。
- 上記に次いで、「語学力」「適応力」「異文化理解力」「挑戦力」を求める意見が多く、ここまでがグローバル人材に求める能力のトップ5となる。
- 上位の項目を見ると、グローバルな人材には、まずは語学や折衝など、コミュニケーションを図るための基本的な能力が不可欠とされており、それらにプラスして「プレゼンテーション力」や「論理的思考力」といった、具体的に業務をこなす能力が必要であると考えられているようであった。
- 次項では「イノベーション人材」に求める能力を聞いているが、そのトップ5と比べると、「挑戦力」だけが共通しており、これも色々な場所で必要とされる能力と言えそうであった。



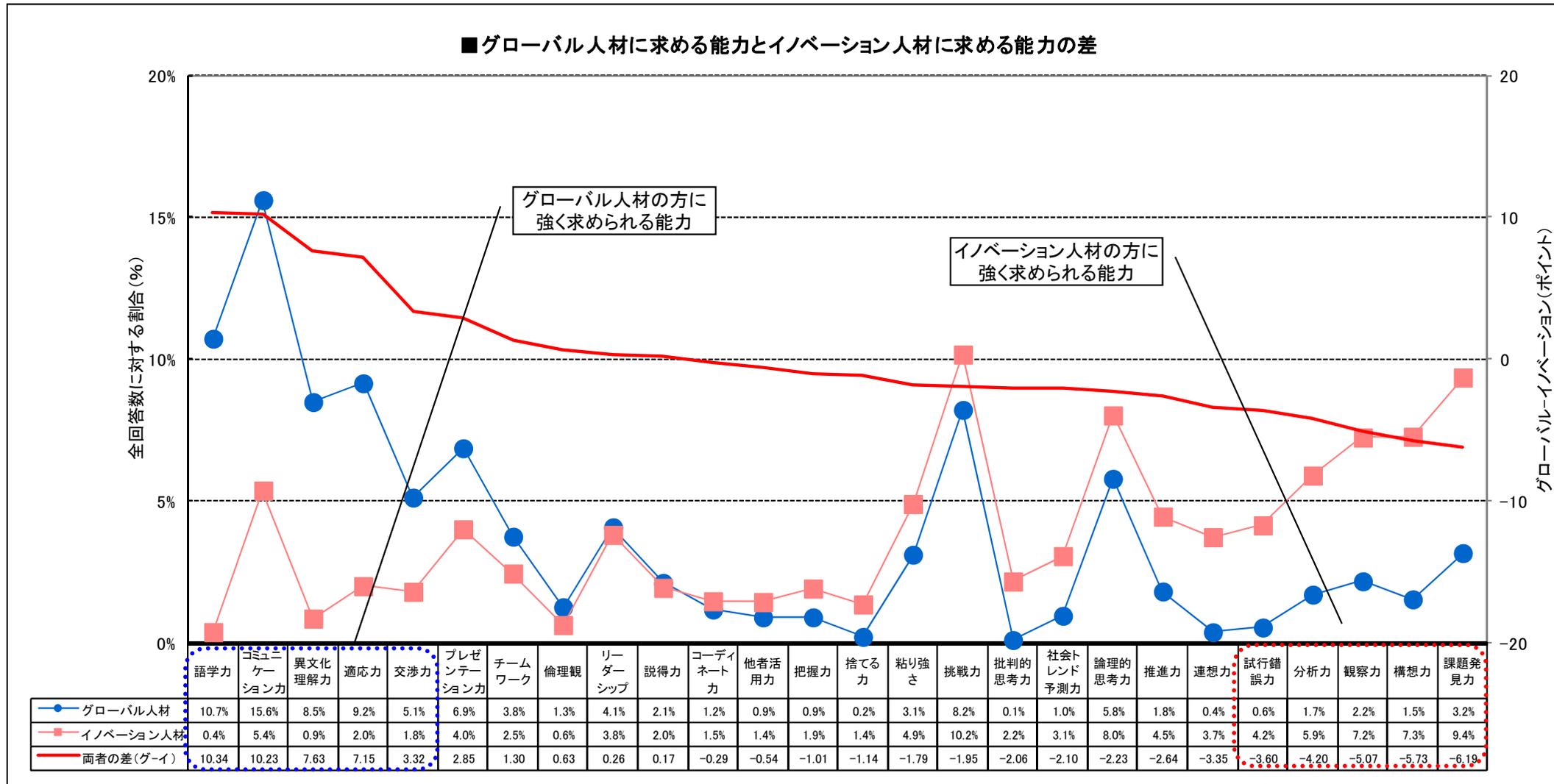
■イノベーション人材に求める能力

- イノベーション人材に最も求められていたのは「挑戦力」であった。
- 上記に次いで、「課題発見力」「論理的思考力」「構想力」「観察力」が挙げられており、ここまでがトップ5となる。
- ここに挙げられた能力を見ると、一般的な事務処理能力ではなく、新たなビジネスチャンスの発見、アイデアの具体化、事業化までの構想などの場面が想像できる項目となっていた。
- また、「リーダーシップ」や「チームワーク」、「コーディネート力」「他者活用力」といった能力の重視度はあまり高くなく、企業ではイノベーションの動きはチームとしての動きよりも、個人の動きに任せているといった見方もできそうであった。
- 前項の「グローバル人材」に求める能力と比較すると、トップ5では「挑戦力」が共通しており、上位の中を見ると、「グローバル人材」でトップだった「コミュニケーション力」の重視度も高く、これらの能力は基本的なものとして広く求められているようであった。一方、「グローバル人材」ではトップ5に入っていた「語学力」「異文化理解力」などはここでは非常に低く、「グローバル人材」などにのみ求められる特殊な能力とも言えそうであった。



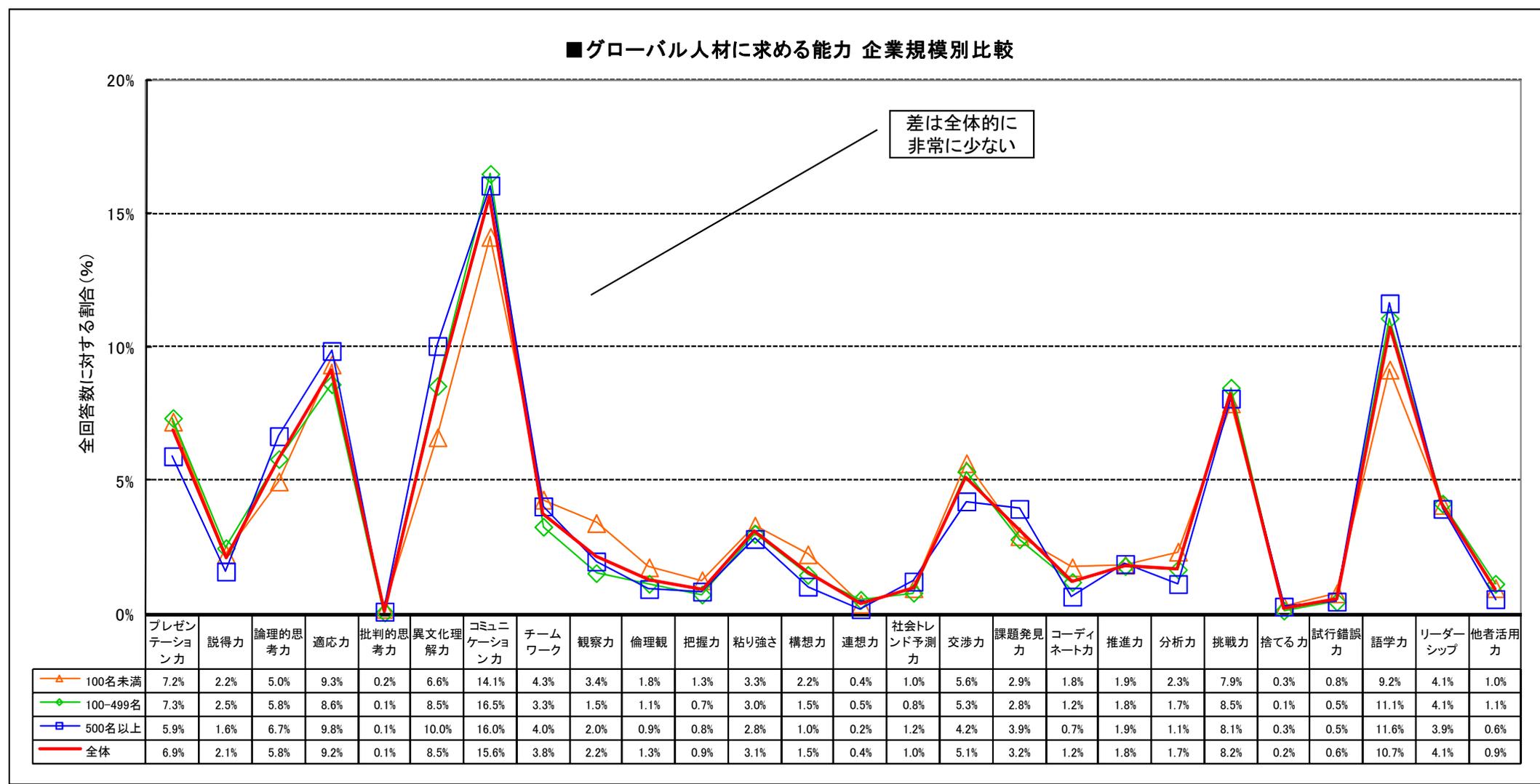
■グローバル人材に求める能力とイノベーション人材に求める能力の差

- 全回答に対する「グローバル人材に求める能力」の割合は青い折線で、同様に「イノベーション人材に求める能力」は赤い折線で表現して比較を行った。また、両者の差(グローバルからイノベーションをマイナスしたもの)をポイントとして赤い太線で表現し、この値でソートした。グラフの左にあるものほどグローバル人材に対して求める意見が多かったもの、右にあるほどイノベーション人材に対して求める意見が多いものとなる。
- 各々に求められている能力はここまでに見ているので、ここでは両者の差をチェックすると、グローバル人材に求められる「語学力」「コミュニケーション力」「異文化理解力」「適応力」「交渉力」などは、イノベーション人材にはそれほど求められていないことが分かる。
- 逆にイノベーション人材に求められている「課題発見力」「構想力」「観察力」「分析力」「試行錯誤力」などはグローバル人材ではあまり求められておらず、両者の差がよく分かる結果となっていた。



■グローバル人材に求める能力の企業規模別比較

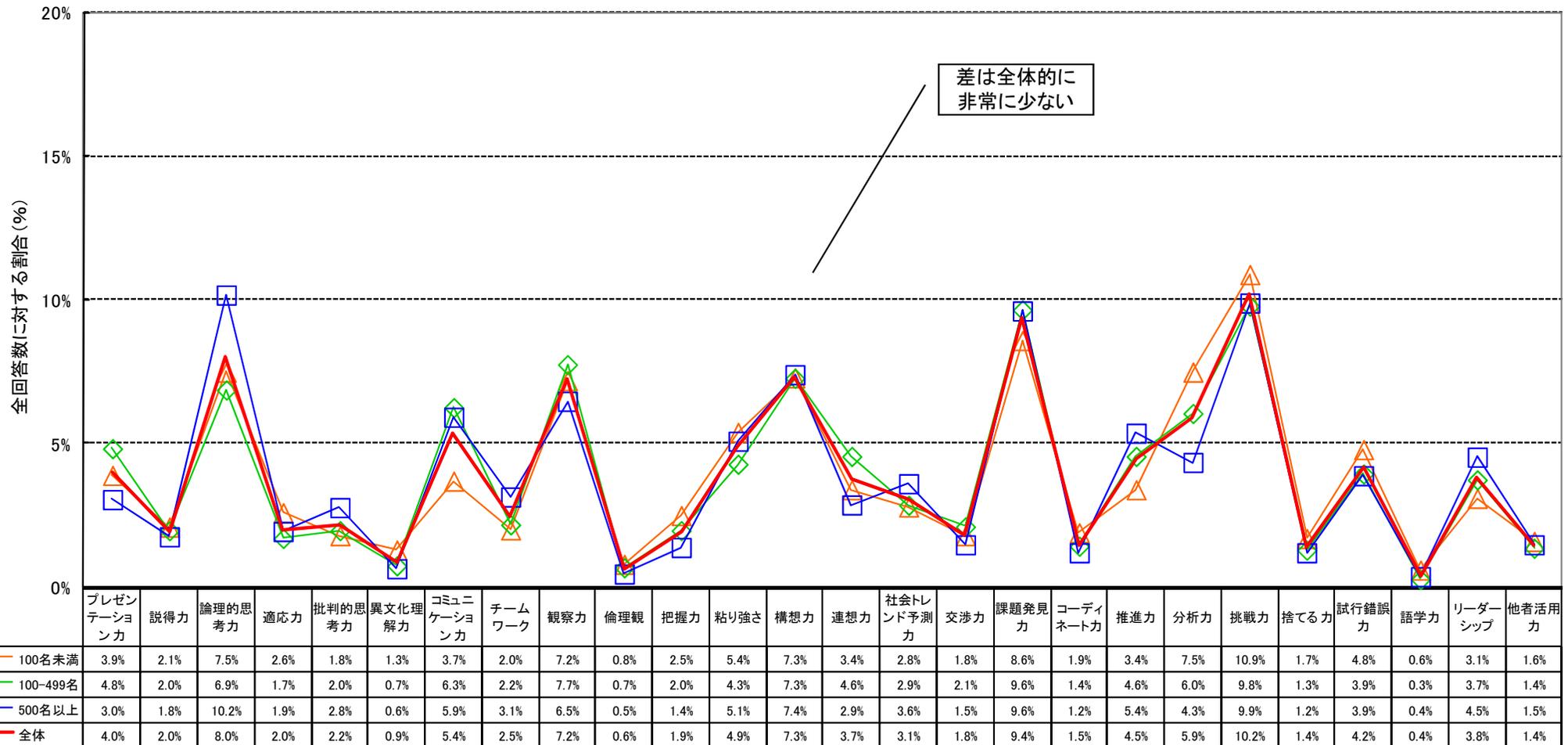
- グローバル人材に求める能力を企業規模別に比較したところ、大きな差は見られず、重視される能力はどのような規模の企業でも変わらず重視されると言えそうであった。
- 全体的に重視度の高い「異文化理解力」「コミュニケーション力」「語学力」を見ると、わずかな差ではあるが「100名未満」の企業の重視度がやや低めであり、グローバルな業務が少ないなどの理由があるのではないと思われる。



■イノベーション人材に求める能力の企業規模別比較

- イノベーション人材に求める能力に関しても企業規模による差はあまり大きくなく、グローバル人材と似た傾向となっていた。
- 差は大きくないが「500名以上」の企業に少し特徴が見られ、「論理的思考力」「批判的思考力」「チームワーク」「推進力」「リーダーシップ」がやや重視されており、イノベーションというわけではないが、業務をチームで進めるための能力を重視しているという解釈ができるのではないかとと思われる。
- 一般的に小さい組織ほど重要と思われる「コミュニケーション力」であるが、今回の調査では「100名未満」の企業で重視されていない傾向が見られた。また、「推進力」「リーダーシップ」がそれほど重視されず、「分析力」「挑戦力」「試行錯誤力」が重視されるなどの傾向も見られることから、小企業では個人個人が商品開発や業務推進の責任を担っており、チームで業務を進めている大企業と異なる業務形態が想像できる。

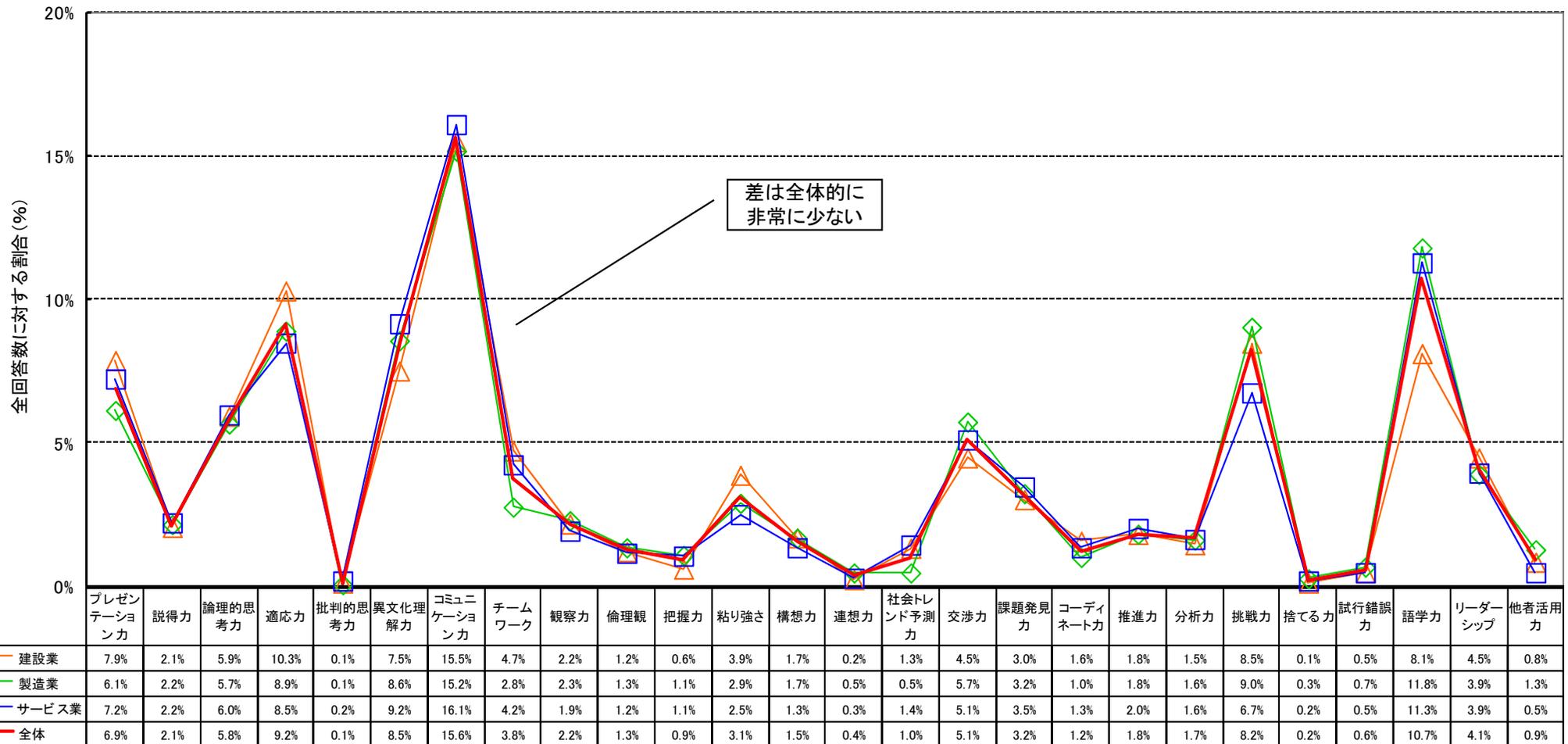
■イノベーション人材に求める能力 企業規模別比較



■グローバル人材に求める能力の業種別比較

- グローバル人材に求める能力を業種別に比較したところ、全体的に差はあまりなく、いずれの業種でも求める能力は変わらないことが確認できた。
- 差は大きくはないが、「建設業」で「語学力」が重視されていない傾向が見られる。これは実質的にグローバルな業務が少ないことによるものではないかと思われる。一方、「建設業」で求められていたのは「適応力」と「粘り強さ」であったが、これはグローバル人材に関わらず、「建設業」で重視されるものが現れたのではないかと思われる。
- 他には、「サービス業」で「粘り強さ」と「挑戦力」を求める意見がやや少なく、「製造業」で「プレゼンテーション力」「チームワーク」「社会トレンド予測力」がやや低めとなっていたが、これらの傾向については解釈が難しい。

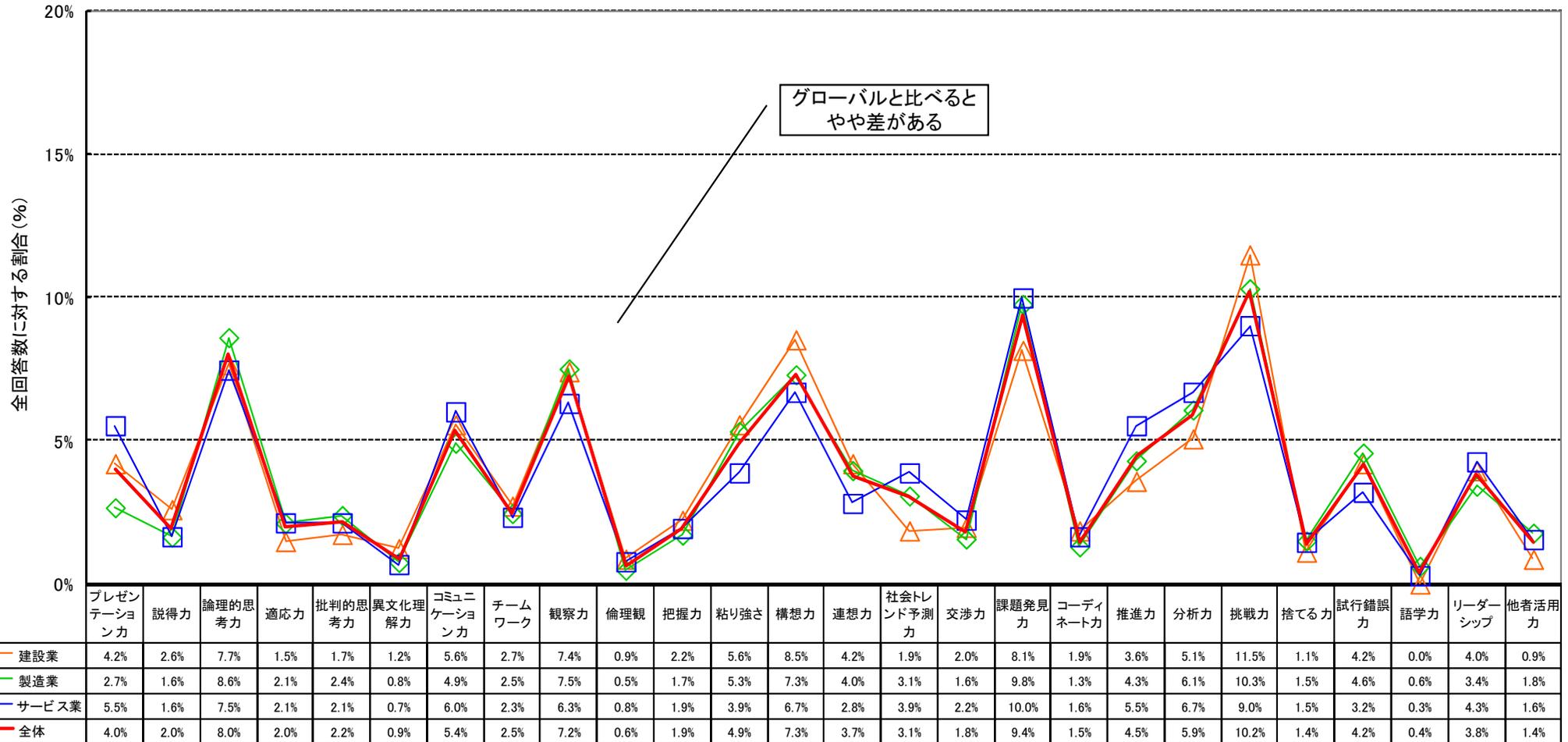
■グローバル人材に求める能力 業種別比較



■イノベーション人材に求める能力の業種別比較

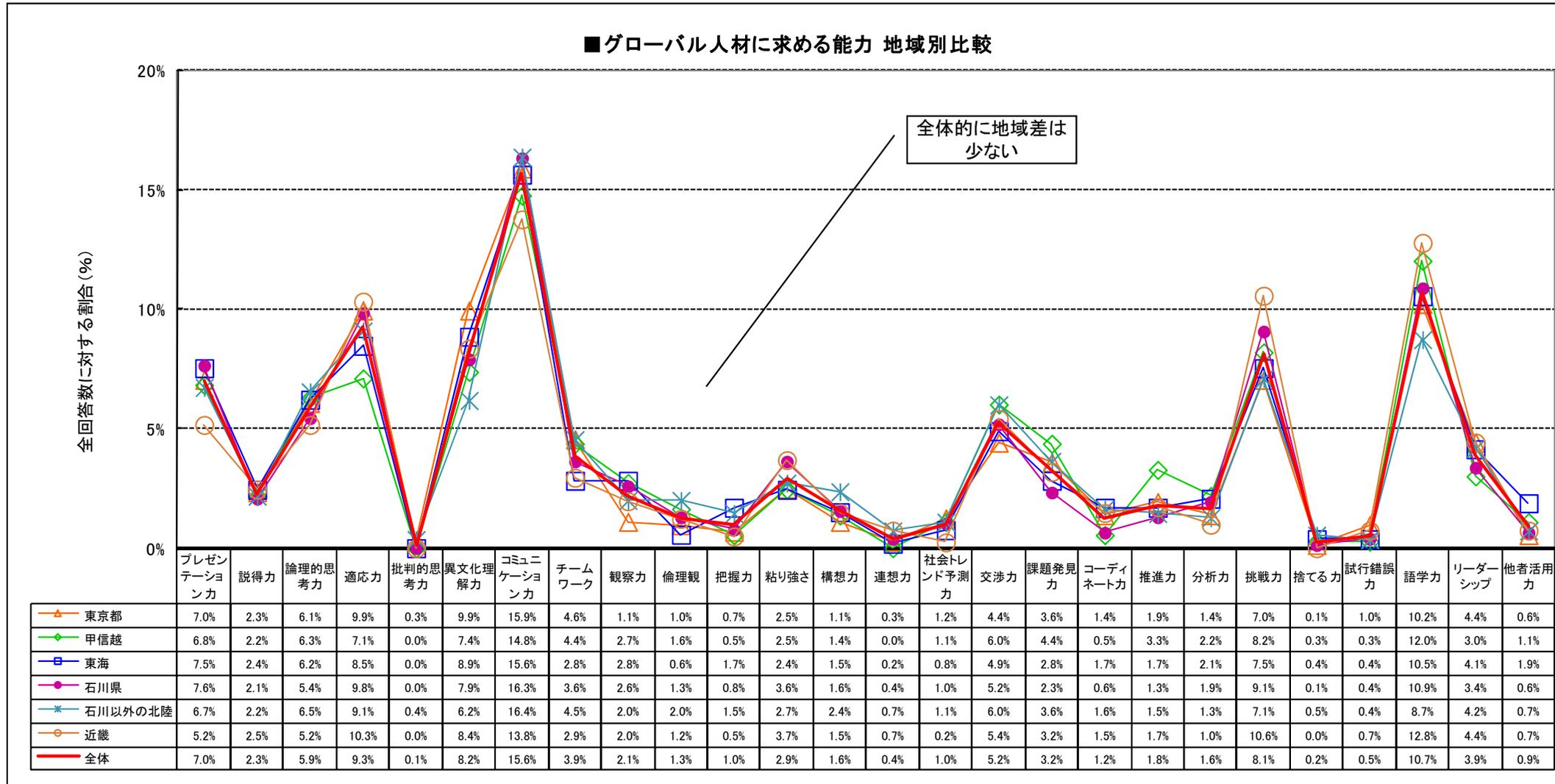
- イノベーション人材に求める能力を業種別に見たところ、それほど大きな差ではないが前項のグローバル人材よりも差は大きめで、業種によってグローバル人材に求める能力には差がないが、イノベーション人材に求める能力には差がありそうであった。
- 「サービス業」ではイノベーション人材に「プレゼンテーション力」「社会トレンド予測力」「推進力」などの能力が求められており、「粘り強さ」「構想力」「連想力」「試行錯誤力」はあまり求められておらず、マーケティング部門がイメージできる。
- 「製造業」では「プレゼンテーション力」は重視されず、「論理的思考力」が求められており、現場主義の現れのように思われる。また、「建設業」のイノベーション人材には「構想力」「挑戦力」が求められていた。

■イノベーション人材に求める能力 業種別比較



■グローバル人材に求める能力の地域別比較

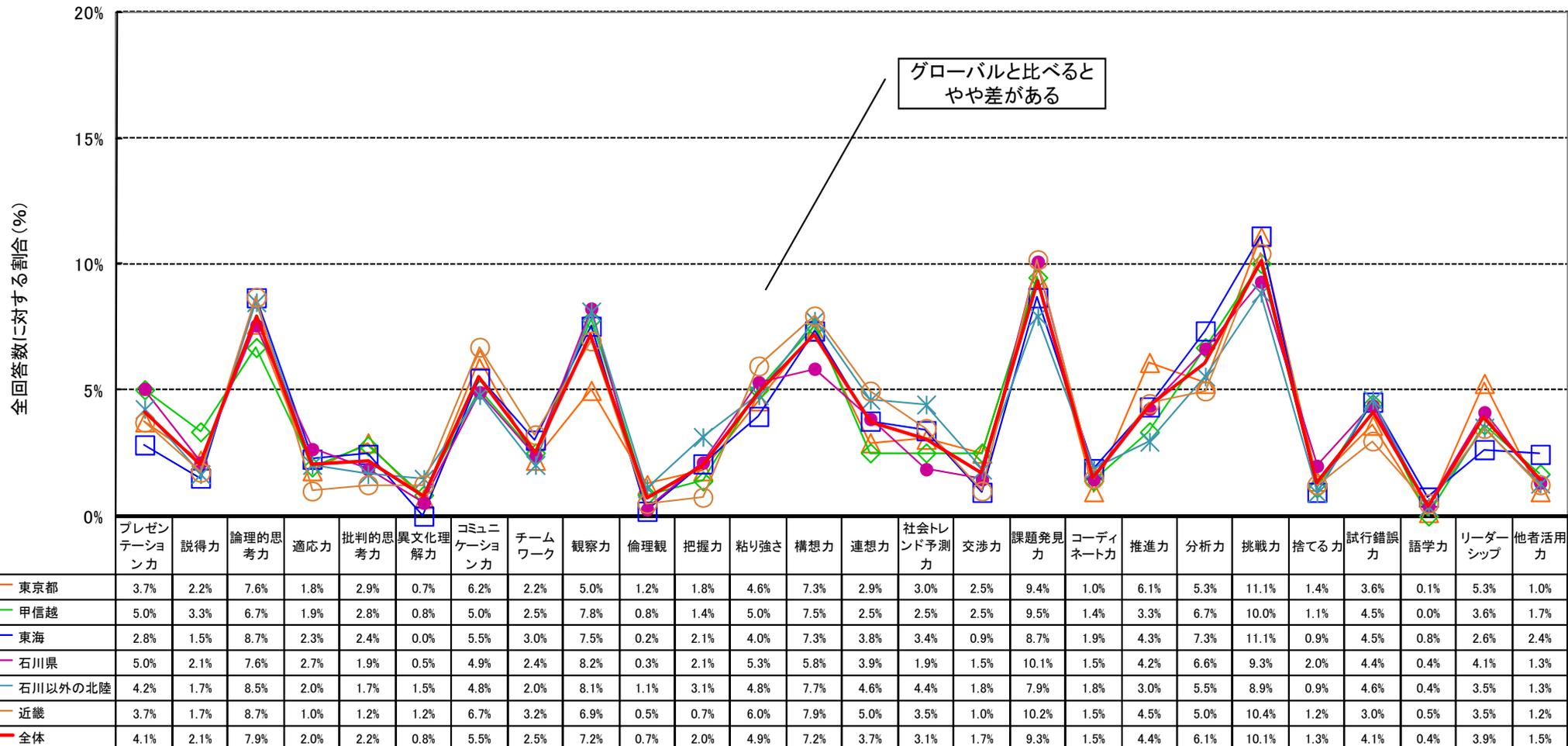
- グローバル人材に求める能力を地域別に比較したところ、差はそれほど大きくなかった。
- 差は小さいが、「東京都」の企業は「観察力」を求める意見が他の地域より少なかった。
- 「石川県」の企業はグローバル人材に「プレゼンテーション力」「粘り強さ」「挑戦力」を求めており、「粘り強さ」には地域性が感じられた。
- 「近畿」の企業は「粘り強さ」と「挑戦力」を求めており、「適応力」「語学力」を求める意見もやや多かったが、「プレゼンテーション力」の低さが目立っていた。
- 「甲信越」の企業は「交渉力」「課題発見力」「推進力」を求めており、「適応力」を求める意見が少なかった。



■イノベーション人材に求める能力の地域別比較

- イノベーション人材に求める能力を地域別に比較したところ、それほど大きな差ではないが、前項のグローバル人材よりバラツキが大きかった。
- 「東京都」の企業ではイノベーション人材に「推進力」「リーダーシップ」を求めており、組織を引っ張るリーダーが連想される。
- 「石川県」の企業では、突出してはいないが「プレゼンテーション力」「観察力」「課題発見力」を求めていた。一方で「構想力」「社会トレンド予測力」の2項目の低さが目立っていた。
- 上記以外では「東海」の企業で「分析力」「他者活用力」が求められ、「プレゼンテーション力」「粘り強さ」「リーダーシップ」が低めであった。また、「近畿」の企業では「コミュニケーション力」「粘り強さ」が求められ、「適応力」「批判的思考力」「把握力」「分析力」が求められないなど、いくつかの特徴が見られたが、この地域差が各地域の中心産業の差によるものなのか、文化の違いによるものなのか解釈が難しい。

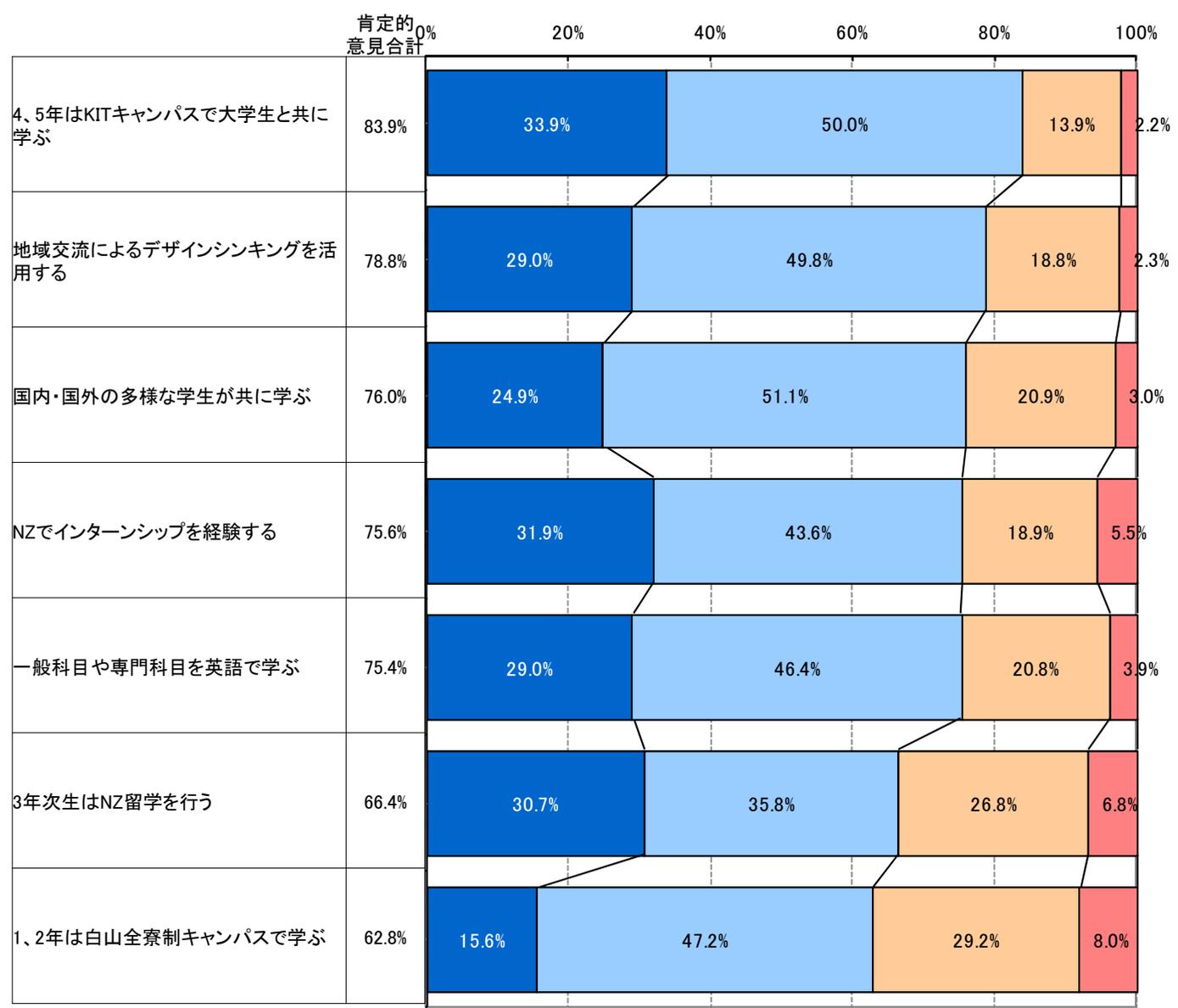
■イノベーション人材に求める能力 地域別比較



■新金沢高専の特徴に関して

- 「新金沢高専」の特徴を7つ挙げ、それらに対する興味の有無を確認した。
- 「興味を持った」と「少し興味を持った」の合計が最も多かったのは「4、5年はKITキャンパスで大学生と共に学ぶ」であり、83.9%が肯定的な回答をしていた。これには「大学レベルの整った施設・設備で、質の高いカリキュラムを受けることができる」といったイメージがあるものと思われる。
- 上記に次いで「地域交流によるデザインシンキングを活用する」が78.8%、「国内・国外の多様な学生と共に学ぶ」が76.0%となっており、他の高専にない特徴的なカリキュラムに対する期待が感じられた。
- 英語に関する項目は「NZでインターンシップを経験する」「一般科目や専門科目を英語で学ぶ」「3年次生はNZ留学を行う」の3項目であったが、いずれも7割前後が肯定的な回答をしていた。特にこの3項目は共に、「興味を持った」という回答だけでも約3割を占めており、一部の企業は強い興味を持っていると言える。
- 肯定的な意見が最も少なかったのは「1、2年は白山全寮制キャンパスで学ぶ」であったが、ここでも62.8%が肯定的な回答であった。

■新金沢高専の特徴に関して

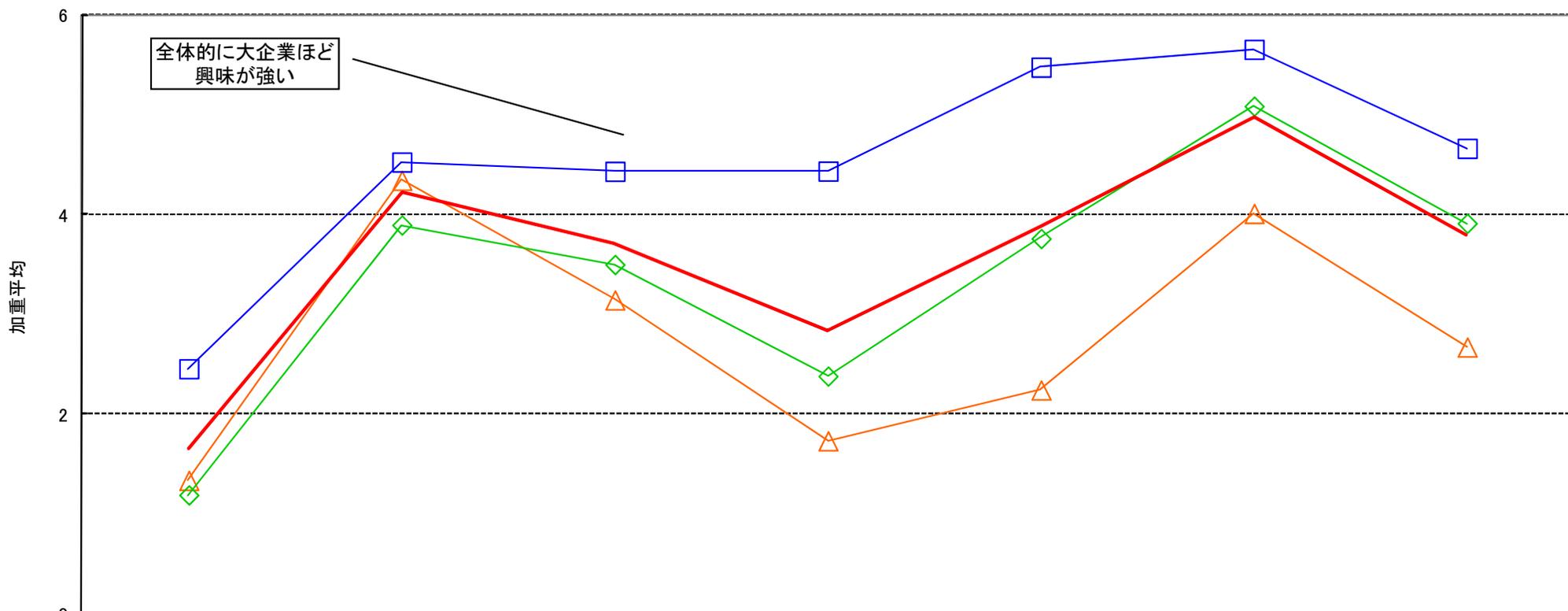


- 興味を持った
- 少し興味を持った
- あまり興味を持たなかった
- 興味を持たなかった

■新金沢高専の特徴に関する企業規模別比較

- 「新金沢高専」の特徴に対する興味を、企業規模別に加重平均で比較したところ、企業規模による差が明確に出ていた。
- 社員数の多い企業ほど各々の特徴に対する興味が強く、新たな特徴に対する理解と共感が強いものと思われる。ただし、「地域交流によるデザインシンキングを活用する」については企業規模による差が少なく、企業規模に関わらず興味を引くカリキュラムになると思われる。
- 「500名以上」の企業では特に、「3年次生はNZ留学を行う」「NZでインターンシップを経験する」の2項目に対する興味が強く、卒業生に留学の効果を期待しているものと思われる。
- 一方、「100名未満」の企業では「3年次生はNZ留学を行う」「NZでインターンシップを経験する」「4、5年はKITキャンパスで大学生と共に学ぶ」「一般科目や専門科目を英語で学ぶ」の低さが目立っており、英語に関するカリキュラムに関して興味が薄いようであった。

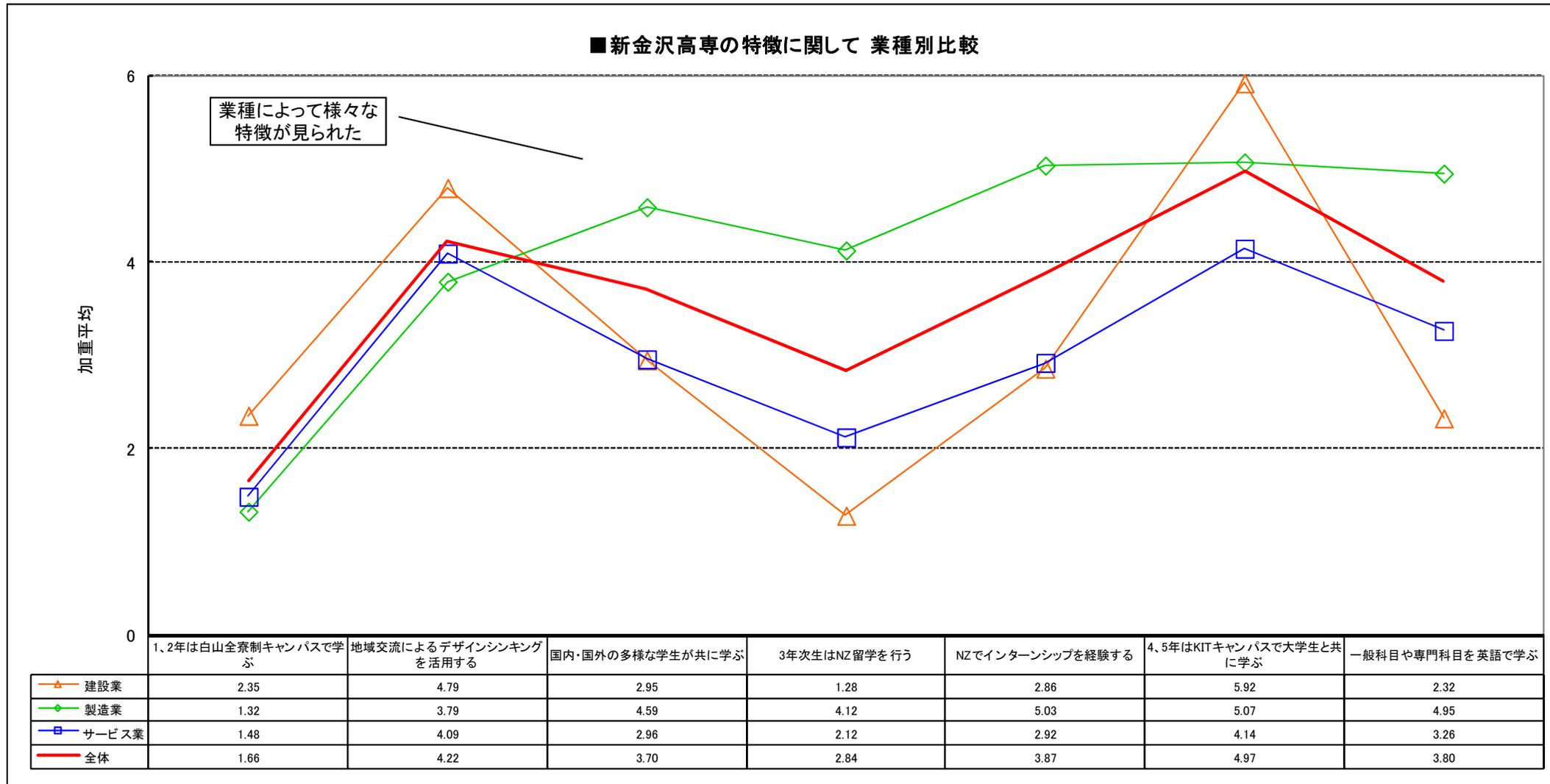
■新金沢高専の特徴に関して 企業規模別比較



	1,2年は白山全寮制キャンパスで学ぶ	地域交流によるデザインシンキングを活用する	国内・国外の多様な学生が共に学ぶ	3年次生はNZ留学を行う	NZでインターンシップを経験する	4,5年はKITキャンパスで大学生と共に学ぶ	一般科目や専門科目を英語で学ぶ
100名未満	1.34	4.34	3.14	1.73	2.24	4.01	2.67
100-499名	1.19	3.89	3.50	2.38	3.76	5.08	3.91
500名以上	2.45	4.52	4.43	4.43	5.48	5.65	4.66
全体	1.66	4.22	3.70	2.84	3.87	4.97	3.80

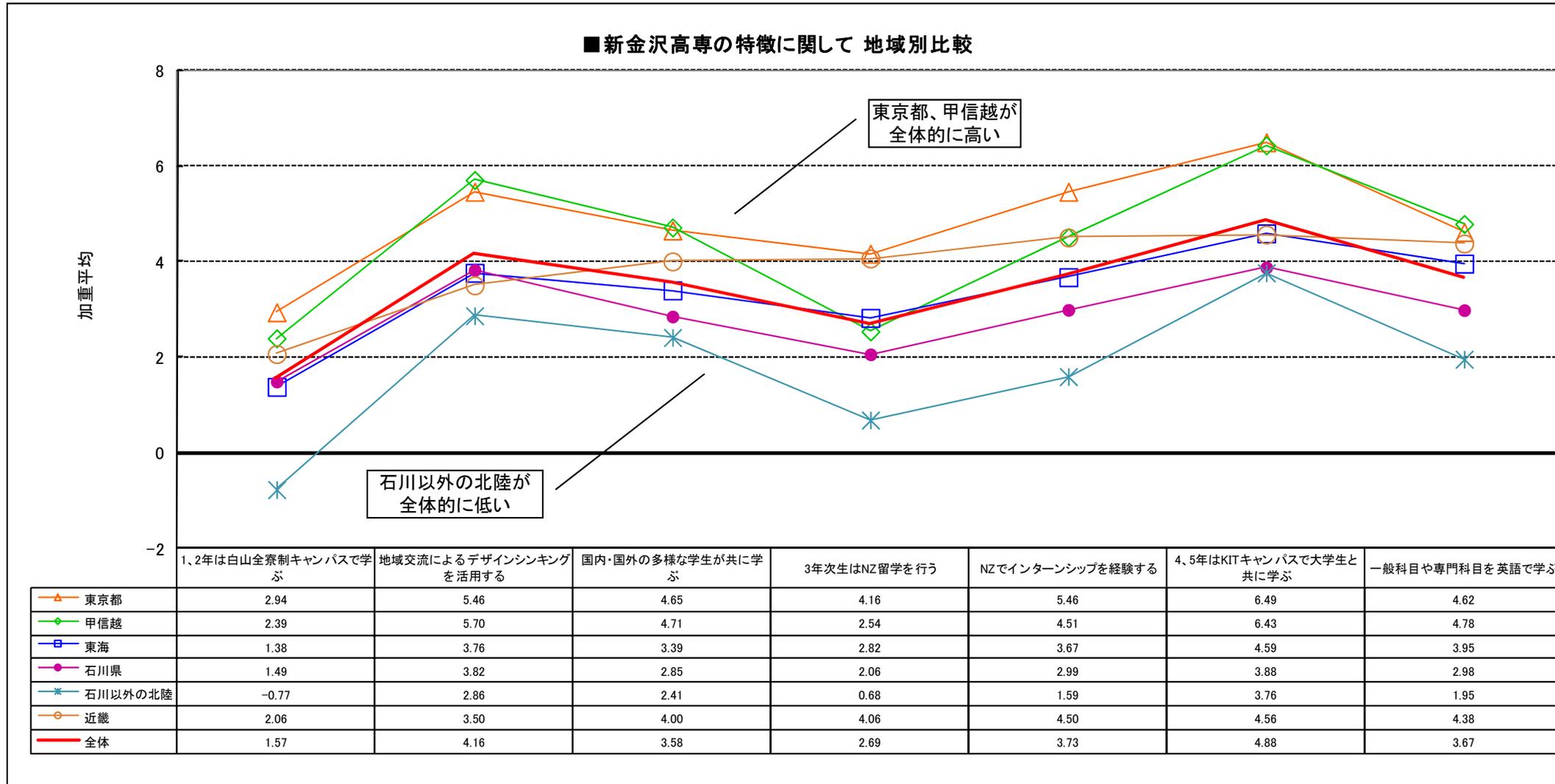
■新金沢高専の特徴についての業種別比較

- 「新金沢高専」の特徴に対する興味を会社の業種別に見たところ、特定の業種が高いといった特徴は見られず、様々な評価となっていた。
- 「製造業」はやや高めの項目が多く、特に「国内・国外の多様な学生が共に学ぶ」「3年次生はNZ留学を行う」「NZでインターンシップを経験する」「一般科目や専門科目を英語で学ぶ」といった、英語や国際交流に関するカリキュラムに興味を持っていた。
- 「建設業」は「4、5年はKITキャンパスで大学生と共に学ぶ」が非常に高い点が目立っていたが、「3年次生はNZ留学を行う」「一般科目や専門科目を英語で学ぶ」が低く、英語をあまり重視していない様子が見られた。
- 「サービス業」は全体的にやや低めで、特に「4、5年はKITキャンパスで大学生と共に学ぶ」の低さが目立っていた。



■新金沢高専の特徴についての地域別比較

- 「新金沢高専」の特徴に対する興味を企業の地域別に比較すると、全体的に「東京都」の企業が高く、「石川以外の北陸」の企業が低いという傾向が見られた。
- 「東京都」の企業はほとんどの項目で最も高い興味を示しており、特に「NZでインターンシップを経験する」の高さが目立っていた。また、「甲信越」も「3年次生はNZ留学を行う」以外は「東京都」に似た高さであり、この2つの地域は「新金沢高専」が掲げる特徴への共感が高いと言える。
- 一方、「石川以外の北陸」は全ての項目で最も低く、特に「1、2年は白山全寮制キャンパスで学ぶ」についてはマイナススコアとなっていた。また、「石川県」もやや低めとなっており、地元と北陸地域では「新金沢高専」が掲げる特徴への興味が低く、しっかりした広報戦略によって理解を促すことが重要になってくると思われる。



企業の皆様へ アンケートのご協力のお願い

学校法人金沢工業大学 金沢工業高等専門学校（以下、金沢高専）に
対してのご意見をお聞かせ下さい。
アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

2016年6月

回答の方法について

- この調査は企業人事担当者の皆様をはじめ、在学生、卒業生、教職員から金沢高専に対するご意見や評価などをお聞きし、金沢高専の更なる向上のための基礎情報を得ることを目的としています。
- 1) 回答は、全てこの用紙に直接ご記入ください。
2) 選択式の設問は、該当する選択肢の番号を○で囲んでください。
3) 記述式の設問は、指定の枠内に具体的にお書きください。
- 貴社に入社した「**金沢高専の卒業生**」に関してお聞きしている質問がありますが、「**金沢高専の卒業生**」がいない場合は、回答できる項目のみご回答ください。また、「**金沢高専の卒業生**」については、過去5年間に入社した卒業生を対象としてご回答願います。
- 回答は統計処理しますので外部に回答内容が出ることはありません。無記名式なので個人・会社を特定して分析することはありません。また、調査目的以外に使われることはありません。
- 回答が終わりましたら、この冊子を三つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、ご返送ください。
- 誠に勝手ながら、**6月25日(土)**までにご回答・ご返送いただきたくお願い申し上げます。
- 結果報告は、金沢高専ホームページ www.kanazawa-tc.ac.jp への調査報告書掲載をもちまして、ご報告とさせていただきます。(10月を予定)
- お問い合わせは下記までお願いいたします。

金沢工業高等専門学校 事務局長 山岸 徹
金沢工業大学 企画部CS室 課長 下津 竜之
TEL 076-248-1080 FAX 076-248-5548 e-mail www-admin@kanazawa-tc.ac.jp

■ 貴社についてお聞きします。該当する番号を○で囲んでください。

(1) 貴社の本社所在地は下記のどれにあてはまりますか？

1. 北海道
2. 東北（青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島）
3. 東京都
4. 東京都以外の首都圏（埼玉・千葉・神奈川）
5. 北関東（栃木・群馬・茨城）
6. 甲信越（山梨・長野・新潟）
7. 東海（静岡・愛知・岐阜・三重）
8. 石川県
9. 石川県以外の北陸（富山・福井）
10. 近畿（滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫）
11. 中国（岡山・広島・鳥取・島根・山口）
12. 四国（香川・愛媛・徳島・高知）
13. 九州・沖縄（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄）
14. 海外

(2) 貴社の従業員数は下記のどれにあてはまりますか？

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 50名未満 | 5. 1,000名以上 2,000名未満 |
| 2. 50名以上 100名未満 | 6. 2,000名以上 5,000名未満 |
| 3. 100名以上 500名未満 | 7. 5,000名以上 10,000名未満 |
| 4. 500名以上 1,000名未満 | 8. 10,000名以上 |

(3) 貴社の資本金は下記のどれにあてはまりますか？

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 5,000万円未満 | 5. 10億円以上 50億円未満 |
| 2. 5,000万円以上 1億円未満 | 6. 50億円以上 100億円未満 |
| 3. 1億円以上 5億円未満 | 7. 100億円以上 200億円未満 |
| 4. 5億円以上 10億円未満 | 8. 200億円以上 |

(4) 貴社の業種は下記のどれにあてはまりますか？

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 建設業（総合・設備工事） | 7. サービス業（コンピュータ・情報サービス） |
| 2. 製造業（鉄鋼、非鉄金属、金属機械） | 8. サービス業（設計、コンサルタント） |
| 3. 製造業（一般・電気・輸送用機器・精密機械） | 9. サービス業（医療、教育、放送、その他） |
| 4. 製造業（繊維、化学、木製品、その他） | 10. 公務・非営利団体 |
| 5. 卸売・小売業、金融・保険業、不動産業 | 11. その他（具体的に |
| 6. 運輸・通信業 |) |

(5) 貴社には過去5年間に金沢高専の卒業生はおおよそ何名程度入社していますか？

- | | | | | |
|-------|----------|----------|---------|-------|
| 1. 0名 | 2. 1名~2名 | 3. 3名~4名 | 4. 5名以上 | 5. 不明 |
|-------|----------|----------|---------|-------|

■ 貴社の採用の考え方についてお聞きします。(金沢高専卒業生が複数入社している場合は、平均的な評価をしてください。また、卒業生の入社がない場合は、「新入社員に求める能力」のみお答えください。)

(6) 「新入社員に求める能力」と「金沢高専の卒業生の能力」をどのように評価されますか？あてはまるものに○をつけてください。

	新入社員に求める能力				金沢高専の卒業生の能力			
	求めている	少し求めている	あまり求めている	求めていない	満たしている	少し満たしている	あまり満たしていない	満たしていない
1. 広く情報を収集する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 収集された情報を整理する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 物事を論理的に考える能力	1	2	3	4	1	2	3	4
4. ひとつの事柄を様々な視点から捉える能力	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 課題解決のための仮説を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 課題解決のため自ら行動を起こせる自律性	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 周囲と共同し共創していけるコミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 自分の意見を分かりやすくまとめ表現できる能力	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 目的に向かってグループをまとめるリーダーシップ能力	1	2	3	4	1	2	3	4
10. 相手の立場になって考えられる思いやりの心	1	2	3	4	1	2	3	4
11. 新しい知識・技術に興味をもつ知的な好奇心	1	2	3	4	1	2	3	4
12. 常に新たなものに挑戦する活力	1	2	3	4	1	2	3	4
13. ねばり強く努力を続ける勤勉さ	1	2	3	4	1	2	3	4
14. 周囲に対する誠実さ	1	2	3	4	1	2	3	4
15. 社会人としての基本的な常識	1	2	3	4	1	2	3	4
16. 技術者として社会に対する責任を自覚する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
17. 自らの専門分野に関する基礎的な知識や技術	1	2	3	4	1	2	3	4
18. 社会で役立つ実践的・応用的な知識や技術	1	2	3	4	1	2	3	4
19. 外国語の読み書き会話など、国際的なコミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20. パソコンやインターネットを使いこなす能力	1	2	3	4	1	2	3	4
21. 自分自身で将来のキャリアプランを考え、自己実現を目指す姿勢	1	2	3	4	1	2	3	4
22. 技術者として重視すべき価値（安全、品質など）を共有し、これらに基づいた意思決定と行動ができる	1	2	3	4	1	2	3	4
以下の質問は、貴社の業務に当てはまる場合は、ご回答ください。								
23. 技術を理解し製作(ハード/ソフト)の過程全体を見渡せる能力	1	2	3	4	1	2	3	4
24. 製品化(ハード/ソフト)するためのアイデアや計画を考えだせる能力	1	2	3	4	1	2	3	4
25. 製品(ハード/ソフト)を製作するための設計能力	1	2	3	4	1	2	3	4
26. 設計に基づいた製品(ハード/ソフト)の製作能力	1	2	3	4	1	2	3	4
27. 製品(ハード/ソフト)を運用(使用者への説明、保守、改良等)できる能力	1	2	3	4	1	2	3	4

(7) 貴社に入社した金沢高専卒業生の能力や人物像（イメージや強み、弱みなど）についてお聞かせください。

■ 「グローバル人材」「イノベーション人材」についてお聞きします。

(8) 一般的な採用基準に加えて、特に「グローバル人材」「イノベーション人材」に必要なと思われる能力についてお聞かせください。

1. プレゼンテーション力	2. 説得力	3. 論理的思考力	4. 適応力
5. 批判的思考力	6. 異文化理解力	7. コミュニケーション力	8. チームワーク
9. 観察力	10. 倫理観	11. 把握力	12. 粘り強さ
13. 構想力	14. 連想力	15. 社会トレンド予測力	16. 交渉力
17. 課題発見力	18. コーディネート力	19. 推進力	20. 分析力
21. 挑戦力	22. 捨てる力	23. 試行錯誤力	24. 語学力
25. リーダーシップ	26. 他者活用力		

① 特に「グローバル人材」に必要なと思われる能力を上記から5つまで数字でお答えください。

上記以外に必要なと思われる能力、または「グローバル人材」に関するお考えなどがあれば自由にご記入ください。

② 特に「イノベーション人材」に必要なと思われる能力を上記から5つまで数字でお答えください。

上記以外に必要なと思われる能力、または「イノベーション人材」に関するお考えなどがあれば自由にご記入ください。

■ 「新金沢高専」の特徴についてお聞きします。

金沢高専は2018年4月より、新しい教育の取り組みを展開します。下記はその特徴の一部ですが、各々についての興味の有無をお聞かせください。詳細は同封したパンフレットに記載しておりますのでご覧ください。

(9) 各特徴に対して「興味を持った～興味を持たなかった」の4段階でお答えください。

	興味を持った	少し興味を持った	あまり興味を持たなかった	興味を持たなかった
1. 1,2年次生は新設する白山麓の全寮制キャンパスで学ぶ	1	2	3	4
2. 地域との交流を重視し、地域の課題を解決するプロジェクト(デザインシンキングを活用)を授業に取り入れる	1	2	3	4
3. 国内・国外(帰国子女を含む)の多様な文化を背景に持つ学生が共に学ぶ	1	2	3	4
4. 3年次生は全員、1年間のニュージーランド留学を行う	1	2	3	4
5. ニュージーランド留学中に、現地企業でインターンシップを経験する	1	2	3	4
6. 4,5年次生は金沢工業大学と共有するキャンパスで大学生と共に学ぶ	1	2	3	4
7. 一般科目や専門科目を「英語で学ぶ」授業の実施	1	2	3	4

■ その他の事項についてお聞きします。

(10) 現在の金沢高専のこと、新金沢高専のことなど、ご意見がありましたら何でも構いませんのでお聞かせください。

(11) 任意で構いませんので、企業名のご記入をお願い致します。(回答は統計処理しますので外部に回答内容が出ることはありません。また、調査目的以外に使われることはありません。)

企業名	
-----	--

ご協力ありがとうございました。

再生紙を使用しています